

令和6年度 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(地域公共交通計画/生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和7年1月22日

協議会名: 佐野市地域公共交通協議会

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①運行事業者	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
ジェイアールバス関東(株)	コミュニティバス「さーのって号」 犬伏線 系統:佐野駅～佐野新都市バスターミナル (下り9.7km 上り10.3km) 運行回数:平日5回/日 土休日5回/日 運賃:310円(均一運賃)	・引き続き利便性向上の取組を実施することという評価結果を受け、利用者特性に応じたダイヤ改正を行った。 ・小・中・高校生の利用促進を図るため、長期休暇中のワンコイン乗車制度を実施した。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	A ・1日あたりの利用者数 【目標】65人→【実績】72.5人 ・収支率 【目標】30.0%→【実績】35.7% A 新型コロナウイルス感染症の影響が小さくなったことによる日常生活の移動需要の伸びや、小・中・高校生ワンコインバス等の利用促進策が利用者数増加につながったものと考えられる。	・引き続きバスの乗り方教室等で周知し、利用促進を図る。 ・バスロケーションシステムを導入し、利便性向上を図る。
ジェイアールバス関東(株)	コミュニティバス「さーのって号」 運動公園循環線 系統:佐野駅～運動公園～佐野駅 (循環15.5km) 運行回数:平日9回/日 土休日7回/日 運賃:310円(均一運賃) ※車両減価償却費補助活用(ノンステップバス1両)	・引き続き利便性向上の取組を実施することという評価結果を受け、利用者特性に応じたダイヤ改正を行った。 ・小・中・高校生の利用促進を図るため、長期休暇中のワンコイン乗車制度を実施した。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	A ・1日あたりの利用者数 【目標】90人→【実績】97.8人 ・収支率 【目標】35.0%→【実績】36.9% A 新型コロナウイルス感染症の影響が小さくなったことによる日常生活の移動需要の伸びや、小・中・高校生ワンコインバス等の利用促進策が利用者数増加につながったものと考えられる。	・引き続きバスの乗り方教室等で周知し、利用促進を図る。 ・バスロケーションシステムを導入し、利便性向上を図る。
ジェイアールバス関東(株)	コミュニティバス「さーのって号」 田沼葛生線(運動公園経由) 系統:佐野駅～葛生駅南バス回転場 (下り16.9km 上り17.4km) 運行回数:平日2回/日 土休日0回/日 運賃:310円(均一運賃)	・引き続き利便性向上の取組を実施することという評価結果を受け、利用者特性に応じたダイヤ改正を行った。 ・小・中・高校生の利用促進を図るため、長期休暇中のワンコイン乗車制度を実施した。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	A ・1日あたりの利用者数 【目標】57人→【実績】61.9人 ・収支率 【目標】40.0%→【実績】43.1% A 新型コロナウイルス感染症の影響が小さくなったことによる日常生活の移動需要の伸びや、小・中・高校生ワンコインバス等の利用促進策が利用者数増加につながったものと考えられる。	・引き続きバスの乗り方教室等で周知し、利用促進を図る。 ・バスロケーションシステムを導入し、利便性向上を図る。
ジェイアールバス関東(株)	コミュニティバス「さーのって号」 田沼葛生線(道の駅どまんなかたぬま経由・ベルク経由) 系統:佐野駅～葛生駅南バス回転場 (下り17.8km 上り17.7km) 運行回数:平日6回/日 土休日7回/日 運賃:310円(均一運賃)	・引き続き利便性向上の取組を実施することという評価結果を受け、利用者特性に応じたダイヤ改正を行った。 ・小・中・高校生の利用促進を図るため、長期休暇中のワンコイン乗車制度を実施した。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	B ・1日あたりの利用者数 【目標】55人→【実績】56.4人 ・収支率 【目標】20.0%→【実績】12.3% B 日常生活の移動需要の伸びや、小・中・高校生ワンコインバス等の利用促進策が利用者数増加につながったものと考えられる。一方、運行距離が長く、運行回数も多いことから、運行経費が高くなってしまったため、収支率目標は未達成となった。	・引き続きバスの乗り方教室等で周知し、利用促進を図る。 ・バスロケーションシステムを導入し、利便性向上を図る。

①運行事業者	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
佐野交通(株)	コミュニティバス「さーのって号」 デマンド交通 葛生エリア 営業区域:葛生地区 運行日:月曜～土曜(1/1～1/3は運休) 運行時間帯:7時～17時 運賃:310円(均一運賃)	・引き続き利便性向上の取組を実施することという評価結果を受け、乗降場所(ごみステーション)の表示看板デザインを変更し、視認性を向上させた。 ・小・中・高校生の利用促進を図るため、長期休暇中のワンコイン乗車制度を実施した。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	C ・一日あたりの利用者数【目標】25人→【実績】23.3人 ・収支率【目標】10.0%→【実績】7.4% バスの乗り方教室等による周知活動により、R5年度の日あたりの利用者数(23.0人)から増加したものの、目標値に満たなかった。	・引き続きバスの乗り方教室等でデマンド交通を周知し、利用促進を図る。 ・予約受付は乗車1時間前までとなっているが、利便性向上のため、乗車30分前まで予約受付ができるようにする。
佐野合同自動車(株)	コミュニティバス「さーのって号」 デマンド交通 田沼エリア 営業区域:田沼地区 運行日:月曜～土曜(1/1～1/3は運休) 運行時間帯:7時～18時 運賃:310円(均一運賃)	・引き続き利便性向上の取組を実施することという評価結果を受け、乗降場所(ごみステーション)の表示看板デザインを変更し、視認性を向上させた。 ・利用者ニーズに応じて乗降箇所を追加した。 ・小・中・高校生の利用促進を図るため、長期休暇中のワンコイン乗車制度を実施した。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	C ・一日あたりの利用者数【目標】30人→【実績】27人 ・収支率【目標】10.0%→【実績】6.4% バスの乗り方教室等による周知活動を実施したものの、R5年度の日あたりの利用者数(28.1人)から減少し、目標値にも満たなかった。	・引き続きバスの乗り方教室等でデマンド交通を周知し、利用促進を図る。 ・予約受付は乗車1時間前までとなっているが、利便性向上のため、乗車30分前まで予約受付ができるようにする。
赤見タクシー(有)	コミュニティバス「さーのって号」 デマンド交通 赤見エリア 営業区域:赤見地区 運行日:月曜～土曜(1/1～1/3は運休) 運行時間帯:10時～12時・13時～17時 運賃:310円(均一運賃)	・引き続き利便性向上の取組を実施することという評価結果を受け、乗降場所(ごみステーション)の表示看板デザインを変更し、視認性を向上させた。 ・小・中・高校生の利用促進を図るため、長期休暇中のワンコイン乗車制度を実施した。	B 事業が計画に位置づけられたとおりに実施されていない点があった。	C ・一日あたりの利用者数【目標】10人→【実績】5.4人 ・収支率【目標】10.0%→【実績】3.5% バスの乗り方教室等による周知活動により、R5年度の日あたりの利用者数(4.9人)から増加したものの、目標値に満たなかった。	・引き続きバスの乗り方教室等でデマンド交通を周知し、利用促進を図る。 ・予約受付は乗車1時間前までとなっているが、利便性向上のため、乗車30分前まで予約受付ができるようにする。
旭タクシー(株)	コミュニティバス「さーのって号」 デマンド交通 佐野南部エリア 営業区域:吾妻地区・植野地区の一部 運行日:火曜・木曜・土曜(1/1～1/3は運休) 運行時間帯:9時～12時・13時～17時 運賃:310円(均一運賃)	・引き続き利便性向上の取組を実施することという評価結果を受け、乗降場所(ごみステーション)の表示看板デザインを変更し、視認性を向上させた。 ・小・中・高校生の利用促進を図るため、長期休暇中のワンコイン乗車制度を実施した。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	C ・一日あたりの利用者数【目標】10人→【実績】5.6人 ・収支率【目標】10.0%→【実績】2.8% バスの乗り方教室等による周知活動により、R5年度の日あたりの利用者数(3.5人)から増加したものの、目標値に満たなかった。	・引き続きバスの乗り方教室等でデマンド交通を周知し、利用促進を図る。 ・予約受付は乗車1時間前までとなっているが、利便性向上のため、乗車30分前まで予約受付ができるようにする。
地方運輸局等における二次評価結果(関東運輸局)	ダイヤ改正を利用者特性に応じて行っていることや、長期休暇中の利用促進を図る取組を行っていることは評価できる。交通モードに応じた利便性向上策の実施により、利用促進が図られることを期待したい。 また、周知については画一的に行うのではなく、第三者評価委員会における有識者からの助言(下記)も今後の検討の参考としていただきたい。 ・生活様式に合わせて利用を解説する案内チラシを配布するなど、住民にとって分かりやすい周知を行うことも検討していただきたい。				

令和6年度 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価（地域公共交通計画／生活交通確保維持改善計画に基づく事業）

令和6年1月14日

協議会名： 足利市地域公共交通会議

評価対象事業名： 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①運行事業者	②事業概要	③前回（又は類似事業）の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点（特記事項を含む）
足利中央観光バス株式会社	<p>足利市路線バス 小俣線・松田線・行道線・富田線 ・おでかけループ(旧:中央循環線)</p> <p>運賃 大人(中学生以上):210円 小人(小学生):100円 幼児:無料 身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳、療育手帳提示の方:100円 いきいきパスポート提示の方:100円</p>	<p>・住民を巻き込み、自分事化するような仕組みづくりとして、公民館で実施する生涯学習の各種講座でバスの乗り方教室を実施していく予定</p> <p>・中橋架け替え工事に伴う足利市地域公共交通計画の改訂を行う際に、運行ルートやダイヤ改正について委員からも市民目線や運行し事業者目線で、効率化や利便性の向上について活発な議論が行われた。</p>	<p>A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。</p>	<p>事業が計画に位置付けられた目標を達成できていない点があった。</p> <p>・利用者数(令和6年度時点到達目標利用者数) (路線) (目標) (前年度) (実績) 小俣線 37,000人以上 33,740人 32,724人 松田線 27,000人以上 27,867人 27,505人 行道線 27,000人以上 25,558人 28,443人 富田線 33,000人以上 34,438人 37,577人 おでかけループ(旧:中央循環線) 1,020人以上 1,080人 1,273人</p> <p>・収支率(前年実績+1ポイント以上) (路線) (前年実績) (当年実績) 小俣線 18.5% 13.8% 松田線 17.3% 14.6% 行道線 21.2% 18.9% 富田線 18.7% 21.3% おでかけループ(旧:中央循環線) 8.8% 8.0%</p>	<p>令和6年8月に改訂した地域公共交通計画に基づき、改正後のダイヤや運行ルートの最適化について検討を重ねるとともに、現在のサービス水準を維持しながらも、利便性や運行効率を考慮したダイヤを検討していく必要がある。</p>
足利タクシー株式会社	<p>足利市路線バス 山辺線</p> <p>運賃 大人(中学生以上):210円 小人(小学生):100円 幼児:無料 身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳、療育手帳提示の方:100円 いきいきパスポート提示の方:100円</p>	<p>・住民を巻き込み、自分事化するような仕組みづくりとして、公民館で実施する生涯学習の各種講座でバスの乗り方教室を実施していく予定</p> <p>・中橋架け替え工事に伴う足利市地域公共交通計画の改訂を行う際に、運行ルートやダイヤ改正について委員からも市民目線や運行事業者目線で、効率化や利便性の向上について活発な議論が行われた。</p>	<p>A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。</p>	<p>事業が計画に位置付けられた目標を達成できていない点があった。</p> <p>・利用者数(令和6年度時点到達目標利用者数) (路線) (目標) (前年度) (実績) 山辺線 8,800人以上 7,938人 8,564人 (デマンド 1,020人以上 890人 1,009人)</p> <p>・収支率(前年実績+1ポイント以上) (路線) (前年実績) (当年実績) 山辺線 10.2% 15.1%</p>	<p>令和6年8月に改訂した地域公共交通計画に基づき、改正後のダイヤや運行ルートの最適化について検討を重ねるとともに、現在のサービス水準を維持しながらも、利便性や運行効率を考慮したダイヤを検討していく必要がある。</p>

<p>関東自動車株式会社</p>	<p>足利市路線バス 御厨線・名草線</p> <p>運賃 大人(中学生以上):210円 小人(小学生):100円 幼児:無料 身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳、療育手帳提示の方:100円 いきいきパスポート提示の方:100円</p>	<p>・住民を巻き込み、自分事化するような仕組みづくりとして、公民館で実施する生涯学習の各種講座でバスの乗り方教室を実施していく予定</p> <p>・中橋架け替え工事に伴う足利市地域公共交通計画の改訂を行う際に、運行ルートやダイヤ改正について委員からも市民目線や運行事業者目線で、効率化や利便性の向上について活発な議論が行われた。</p>	<p>A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。</p>	<p>B 事業が計画に位置付けられた目標を達成できていない点があった。</p> <p>・利用者数(令和6年度時点到達目標利用者数) (路線) (目標) (前年度) (実績) 御厨線 13,000人以上 12,697人 13,859人 名草線 16,000人以上 16,340人 18,142人</p> <p>・収支率(前年実績+1ポイント以上) (路線) (前年実績) (当年実績) 御厨線 8.8% 7.8% 名草線 12.0% 10.6%</p>	<p>令和6年8月に改訂した地域公共交通計画に基づき、改正後のダイヤや運行ルートの最適化について検討を重ねるとともに、現在のサービス水準を維持しながらも、利便性や運行効率を考慮したダイヤを検討していく必要がある。</p>
------------------	---	---	-------------------------------------	---	--

<p>地方運輸局等における二次評価結果(関東運輸局)</p>	<p>利用者実績や収支率に一部未達成の系統はあるものの、架け替え工事を利便性向上の機会と捉え、市民・事業者を巻き込んで議論を行ったことは評価できる。引き続き議論を行い、利便性や運行効率の向上に繋げることを期待したい。</p> <p>また、前年度比で利用者増となっている路線について、第三者評価委員会における有識者からの助言(下記)も今後の検討の参考としていただきたい。</p> <p>・利用者が増加した要因(外出の増加、自家用車利用からの転換等)を分析し、把握することも検討していただきたい。</p>
--------------------------------	--

令和6年度 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(地域公共交通計画/生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和7年1月24日

協議会名: 日光市地域公共交通会議

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①運行事業者	②事業概要	「③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況」に	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
日光線通運(株)	日光市デマンド交通 ・運行地域: 小来川地区 ・運行日: 毎日 ・運行時間帯: 7～19時 ・運賃: 1回300円 ・車両及び台数: 10人乗りワゴン車1台	8～9月に「デマンドバス利用促進事業」(期間中に新規登録された方先着50名に限り無料乗車券[300円分×10枚]を配布し、10回まで無料でデマンドバスに乗車可能とする。)を実施し、新規利用者の獲得とデマンドバスの更なる利用促進を図った。 実施にあたっては、市広報紙、市ホームページ掲載のほか、自治会回覧による案内を行い周知活動を実施した。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	A 年間利用者数(R7までに) 目標: 1,200人 実績: 1,280人 事業が計画に位置づけられた目標を達成した。 医療機関や商業施設利用など生活を支える移動手段として認知され、利用されている。	より効率的な運行を実現するため、AIシステムを導入し、時刻表を撤廃。電話だけでなくアプリからの予約を可能とするほか、フルデマンドでの運行を可能とすることで、利便性と満足度の向上を図る。 その上で、既存のタクシー、路線バスも活用することを促し、市内全域において公共交通の利用促進を進める。公共交通利用の意識高揚に向けては、地域での説明会などに出向いて説明を行うほか、市広報紙や市ホームページなどを活用し情報発信に取り組んでいく。
日光線通運(株)	日光市デマンド交通 ・運行地域: 猪倉地区 ・運行日: 毎日 ・運行時間帯: 7～19時 ・運賃: 1回300円 ・車両及び台数: 10人乗りワゴン車1台	8～9月に「デマンドバス利用促進事業」(期間中に新規登録された方先着50名に限り無料乗車券[300円分×10枚]を配布し、10回まで無料でデマンドバスに乗車可能とする。)を実施し、新規利用者の獲得とデマンドバスの更なる利用促進を図った。 実施にあたっては、市広報紙、市ホームページ掲載のほか、自治会回覧による案内を行い周知活動を実施した。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	B 年間利用者数(R7までに) 目標: 1,800人 実績: 1,104人 今年度は実績が目標には及ばなかったが、医療機関や商業施設利用など生活を支える移動手段として認知され、利用されている。 しかしながら、運行時間が定められていることにより利用が低迷している可能性が考えられる。	より効率的な運行を実現するため、AIシステムを導入し、時刻表を撤廃。電話だけでなくアプリからの予約を可能とするほか、フルデマンドでの運行を可能とすることで、利便性と満足度の向上を図る。 その上で、既存のタクシー、路線バスも活用することを促し、市内全域において公共交通の利用促進を進める。公共交通利用の意識高揚に向けては、地域での説明会などに出向いて説明を行うほか、市広報紙や市ホームページなどを活用し情報発信に取り組んでいく。
日光線通運(株)	日光市デマンド交通 ・運行地域: 落合地区 ・運行日: 毎日 ・運行時間帯: 7～19時 ・運賃: 1回300円 ・車両及び台数: 10人乗りワゴン車1台	8～9月に「デマンドバス利用促進事業」(期間中に新規登録された方先着50名に限り無料乗車券[300円分×10枚]を配布し、10回まで無料でデマンドバスに乗車可能とする。)を実施し、新規利用者の獲得とデマンドバスの更なる利用促進を図った。 実施にあたっては、市広報紙、市ホームページ掲載のほか、自治会回覧による案内を行い周知活動を実施した。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	B 年間利用者数(R7までに) 目標: 700人 実績: 468人 昨年度より利用者は増えたものの、目標には及ばなかった。 医療機関や商業施設利用など生活を支える移動手段として定着し、利用されている。 しかしながら、運行時間が定められていることにより利用が低迷している可能性が考えられる。	より効率的な運行を実現するため、AIシステムを導入し、時刻表を撤廃。電話だけでなくアプリからの予約を可能とするほか、フルデマンドでの運行を可能とすることで、利便性と満足度の向上を図る。 その上で、既存のタクシー、路線バスも活用することを促し、市内全域において公共交通の利用促進を進める。公共交通利用の意識高揚に向けては、地域での説明会などに出向いて説明を行うほか、市広報紙や市ホームページなどを活用し情報発信に取り組んでいく。

地方運輸局等における
二次評価結果
(関東運輸局)

周知のみならず、利用促進にも繋がる、無料乗車券配布の取組を行ったことは評価できる。
周知活動は画一的に行うのではなく、第三者評価委員会における有識者からの助言(下記)も今後の検討の参考としていただきたい。
・生活様式に合わせて利用を解説する案内チラシを配布するなど、住民にとって分かりやすい周知を行うことも検討していただきたい。

令和6年度 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(地域公共交通計画/生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和7年 1月20日

協議会名: 栃木市地域公共交通会議

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①運行事業者	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
千代田タクシー有限会社 栃木合同タクシー株式会社 有限会社大平タクシー 藤岡タクシー株式会社 有限会社都賀タクシー 株式会社新交通 岩舟タクシー株式会社 安全タクシー有限会社	デマンド型交通「蔵タク」 営業区域: 北部エリア・南部エリア 運行日: 月曜～金曜(祝日・12/29～1/3を除く) 運行時間帯: 8時～16時 運賃: 400円	<ul style="list-style-type: none"> ・住民を巻き込み自分事化するような仕組みの検討をすべきとの評価については、地域の住民代表組織として市が市内8地域にそれぞれ設置している地域会議に対し、蔵タクの利用者数、収支率の推移等を情報提供した。また、自治会やシニアクラブへの出前講座の回数を増やし、市民が利用することによる地域公共交通の維持確保の重要性について直接呼びかけた。 ・定量的な目標を示し、関係者と情報を共有しながら進めていくべきとの評価については、定期的に開催している運行事業者との懇談会において利用者数、収支率の推移等を事業者へ情報提供し、課題の共有と改善に向けた意見交換を行った。 	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	C 事業が計画に位置付けられた目標を達成できなかった。 収支率 目標: 20.0% 実績: 12.2% 利用者数 目標: 255人/日 実績: 173.3人/日 (コロナ禍前R1: 253.4人/日) 分析: 蔵タクの利用の多くが高齢者の通院・買い物等を目的としているが、新型コロナウイルス感染症による行動制限の生活習慣が続いていると推察されるため、利用者数はコロナ禍前の水準まで回復できていないと考えられる。	<ul style="list-style-type: none"> ・限りある資源を有効に配分することにより持続可能な公共交通体系を構築することが重要課題であるため、乗車データの活用により移動需要に合った効率的な運行の在り方について検討を進め、改定を予定する地域公共交通計画に位置づけていきたい。 ・制度周知を積極的に行い、蔵タクの潜在的な需要を喚起する。加えて、他の交通モードについても周知し、利用者に蔵タクを含めた各種の移動手段から最適なものを選択、必要に応じ乗継利用をしてもらえるよう公共交通を積極的に利用する市民意識の醸成に取り組むたい。

地方運輸局等における二次評価結果(関東運輸局)

目標は未達成となったが、地域交通の維持について、前回の事業評価結果を踏まえた取組をしっかりと行っていることは評価できる。データの活用により移動需要を把握され、効率的な運行に繋げていただくことに期待したい。また、周知については画一的に行うのではなく、第三者評価委員会における有識者からの助言(下記)も今後の検討の参考としていただきたい。
 ・生活様式に合わせて利用を解説する案内チラシを配布するなど、住民にとって分かりやすい周知を行うことも検討していただきたい。

令和6年度 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(地域公共交通計画/生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和7年1月22日

協議会名: 真岡市地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①運行事業者	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
事業者名 芳南交通(株) 潮田タクシー(株) (有)二宮タクシー	デマンドタクシー「いちごタクシー」 運行地域:真岡市全域 運行日:月曜日～金曜日 運行時間帯:9:00～17:00 運賃:300円(小学生200円)	<p>・いちごタクシーの予約アプリの登録支援を行うなど、普及促進を図る。 ⇒総合政策課だけでなく、二宮支所でもアプリの利用方法に関する問い合わせにも対応できるよう体制を整えた。</p> <p>・利用者や交通事業者等と協働した事業である公共交通サポーター制度を引き続き実施し、安定した運行と公共交通への意識醸成を図る。 ⇒真岡市工業団地管理協会の総会で周知活動を実施し、個人3口、法人1口の協賛を得た。</p> <p>・地域座談会、出前講座、学校での乗り方教室、小学生向け夏休み無料乗車キャンペーンを引き続き実施し、利用促進を図る。 ⇒地域に説明会の募集を行い、説明会で意見交換を行った。 また、小学校でのバスの乗り方教室や夏休み無料乗車キャンペーンを引き続き実施し、利用促進を図った。</p>	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	<p>事業が計画に位置付けられた目標を達成できていない点があった。 【目標】 ①一日あたりの乗車人数 70.0人/日 ②収支率 9.4%</p> <p>B 【実績】 ①70.5人/日 ②5.9%</p> <p>・免許返納無料/パスの配布や障害割引の実施などで無料乗車の利用者が増加していることが要因となっている。</p>	<p>・利用者や交通事業者等と協働した事業である公共交通サポーター制度を引き続き実施し、安定した運行と公共交通への意識醸成を図る。</p> <p>・地域座談会や学校での乗り方教室、小学生向け夏休み無料乗車キャンペーンを引き続き実施し、利用促進を図る。</p>
事業者名 大越観光バス(株)	コミュニティバス「いちごバス」 系統:真岡(市内循環線:24.3km) 運行回数:18回/日 運賃:100円	<p>・いちごバスやいちごタクシーの使い方や乗継方法をまとめた公共交通ブックを作成、配布し、利用促進を図る。 ⇒令和7年6月にいちごバスの見直しを行う際に、他の交通の使い方や利用方法を掲載した公共交通ブックを作成し、利用促進を図るため、現在作成方法について検討している。</p>	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	<p>事業が計画に位置付けられた目標を達成できていない点があった。 【目標】 ①一日あたりの乗車人数 125.0人/日 ②収支率 11.4%</p> <p>B 【実績】 ①154.8人/日 ②11.2%</p> <p>・免許返納無料/パスの配布や障害割引の実施などで無料乗車の利用者が増加していることが要因となっている。</p>	<p>・SNSやテレビ、ラジオ等を活用し、市民へ広く周知し、公共交通利用のきっかけづくりを実施する。</p>

地方運輸局等における二次評価結果(関東運輸局)

目標の一部が未達成であったが、利用促進策や周知活動に取り組み、デマンド交通において乗車人数が目標を達成していることは評価できる。SNS等における周知の際には、第三者評価委員会における有識者からの助言(下記)も今後の検討の参考としていただきたい。
・生活様式に合わせて利用を解説する案内チラシを配布するなど、住民にとって分かりやすい周知を行うことも検討していただきたい。

令和6年度 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(地域公共交通計画/生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和7年1月30日

協議会名: 茂木町地域公共交通会議
 評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①運行事業者	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
(株)柏タクシー	茂木エリア	実利用者数の減少に伴い、前回の事業評価時において目標の18,000人に対し、実績が17,261人だったことから、利用実績の向上を目指し、年度目標として17,500人を設定した。	A 計画どおり事業は実施された	<p>【目標と実績】(目標年度:令和8年度)</p> <p>①運行サービスにおける利用者満足度90%以上に対し、80%</p> <p>②めぐるくんの利用実績22,000人に対し、17,050人</p> <p>③めぐるくんの収支率18.0%に対し、11.99%</p> <p>④公共交通(めぐるくん)に係る負担額28,000千円に対し、28,988千円</p> <p>【目標を達成できなかった理由】</p> <p>①1便減便(アンケート結果から)が要因と考えられる。</p> <p>②③町の人口減による、利用者の減少が要因と考えられる。</p> <p>④物価・燃料費・人件費等の高騰が大きな要因と思われる。</p>	<p>・75歳以上の運転免許自主返納者への割引制度等拡充及び広報の強化を行い、利用の多い年代である高齢者を車からめぐるくんへの利用転換を促し、新たな需要喚起するとともに、高齢者の安全、安心な生活づくりを図る。</p> <p>・平成30年4月より導入した回数券のPR強化や、目的施設追加のPRを引き続き行い、利用者の利便性の向上や需要増を図る。</p> <p>・町外施設等への乗り入れ等を検討し、利便性の向上を図る</p>

地方運輸局等における二次評価結果(関東運輸局)	目標は未達成であったが、利用の多い高齢者にフォーカスを当て、自家用車からの転換を促すだけではなく、免許返納を通じた高齢者の安全・安心な生活づくりに向けた取組は評価できる。 第三者評価委員会における有識者からの助言(下記)も今後の検討の参考としていただきたい。 ・利用状況を把握し、利用者が集中する時間帯や目的地等があれば、一部を定時定路線にするなど、利用者に合ったサービス内容の変更も検討していただきたい。
-------------------------	---

令和6年度 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(地域公共交通計画/生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和7年1月29日

協議会名: 下野市地域公共交通会議

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①運行事業者	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
石橋タクシー(株)	デマンド交通「おでかけ号」 営業区域:下野市全域 運行日:月曜～土曜 運行時間帯:午前8時～午後6時 運賃:大人(中学生以上)300円・小学生200円・未就学児無料(ただし、保護者同伴を要する)	利用者アンケート等の結果をもとに、更なる利用環境の向上を図るべきとの評価結果を受け、以下の取組を実施した。 ・予約が集中する時間帯に、予約電話がつながりにくいという課題を解決するため、自動音声対応の実証実験(令和5年6月～令和6年3月)を実施した。 ・利用者にデマンド交通の利用方法や現状を発信するため「おでかけ号通信」を発行した。	A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	C 事業が計画に位置付けられた目標を達成できなかった。 【目標】 デマンド交通の1日平均利用者数:70.3人 【実績】 実績:54.3人 【分析】 登録者の増加により、予約電話がつながりにくい、予約が取りにくい時間帯が増加したことにより、利便性の低減が見られた。即時デマンド希望や1人あたりの移動距離が長くなっていることから、乗合の割合が低い。	「下野市地域公共交通計画」(令和3年3月策定)に基づきデマンド交通の運行形態を変更し、利用者の増加など一定の成果が見られた一方、令和6年度は利用者が減少に転じた。 【改善点】 ・予約電話がつながりやすくなるよう電話対応方法の見直しを実施。 ・AI配車システムによる配車を徹底し、乗合率の向上に努める。

地方運輸局等における二次評価結果(関東運輸局)	目標は未達成ではあるものの、予約が集中する時間帯における自動音声対応の実証実験を行い、利用環境の改善に取り組んだ事は評価出来る。周知活動においては、第三者評価委員会における有識者からの助言(下記)も今後の取組の参考としていただきたい。 ・生活様式に合わせて利用方法を解説する案内チラシなど、住民にとって分かりやすい周知を行うことも検討していただきたい。
-------------------------	---

令和6年度 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(地域公共交通計画/生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和7年1月6日

協議会名: さくら市地域公共交通会議

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①運行事業者	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
さくらタクシー有限会社	コンタ号・つういんコンタ号 旧喜連川町の全域及び黒須病院(旧氏家町域)	・利用者の更なる利便性向上のため、AI技術を活用した運行システムを次年度実施予定。 ・HPで広報活動を行ったほか、公共交通マップを作成し、鉄道駅や公共施設など市内各施設に配架し、利用促進を図った。 ・利用者の利便性向上のため、つういんコンタ号の最終便の時間を変更した。	A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	【目標】 ○コンタ号 ・1人1回当たりの利用に対する公費負担額を1,000円以下 ・収支率17%以上 ・サービスに対する満足度:75%以上。 ○つういんコンタ号 ・1人1回当たりの利用に対する公費負担額を2,100円以下 ・収支率を16%以上 ・サービスに対する満足度:75%以上 【結果】 ○コンタ号 ・1人1回当たりの利用に対する公費負担額:1,106.84円 ・収支率12.54% ・サービスに対する満足度:47.2% ○つういんコンタ号 ・1人1回当たりの利用に対する公費負担額:3,251.04円 ・収支率8.93% ・サービスに対する満足度:44.5% いずれも目標を達成できなかった。しかし、次年度はAI技術を活用した運行システムを導入するため改善されることを期待する。	・広報紙・HP等による利用促進を更に強める。 ・デマンド交通の予約方法に関する講座を市民の求めに応じて開催する。 ・地域公共交通計画を基に、市民の利便性向上に向け、デマンド交通も含めた地域の交通ツールと調整を図る。 ・利用者の要望に対し、対応が可能な項目を検討する。 【特記事項】 令和7年2月より、AI技術を活用した運行システムを導入する。
有限会社誠タクシー	うのはな号 旧氏家町の全域	・利用者の更なる利便性向上のため、AI技術を活用した運行システムを次年度実施予定。 ・HPで広報活動を行ったほか、公共交通マップを作成し、鉄道駅や公共施設など市内各施設に配架し、利用促進を図った。	A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	【目標】 ・1人1回当たりの利用に対する公費負担額を1,500円以下 ・収支率13%以上 ・サービスに対する満足度:60%以上。 【結果】 ・1人1回当たりの利用に対する公費負担額:2,022.32円 ・収支率9.66% ・サービスに対する満足度:24.43% いずれも目標を達成できなかった。しかし、次年度はAI技術を活用した運行システムを導入するため、改善されることを期待する。	・広報紙・HP等による利用促進を更に強める。 ・デマンド交通の予約方法に関する講座を市民の求めに応じて開催する。 ・地域公共交通計画を基に、市民の利便性向上に向け、デマンド交通も含めた地域の交通ツールと調整を図る。 ・利用者の要望に対し、対応が可能な項目を検討する。 【特記事項】 令和7年2月より、AI技術を活用した運行システムを導入する。

地方運輸局等における
二次評価結果
(関東運輸局)

目標は未達成ではあるものの、AI技術を活用した運行システムの導入に取り組んでいることは評価する。利用者のさらなる利便性向上に繋がることが期待したい。また、周知については、第三者評価委員会における有識者からの助言(下記)も今後の検討の参考としていただきたい。

・生活様式に合わせて利用方法を解説する案内チラシを配布するなど、住民にとって分かりやすい周知を行うことも検討していただきたい。

令和6年度 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(地域公共交通計画/生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和7年1月31日

協議会名: 小山市地域公共交通会議

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①運行事業者	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
友井タクシー株式会社	羽川線 系統: 小山駅西口～小金井駅西口 他1系統 距離: 往路13.1km 復路13.1km 運行回数: 平日10回/日、休日9回/日 運賃: 大人200円	前年度、利用促進のパンフレットを配布したところ、利用者数が増加したことから、引き続き沿線の学校に配布を行った。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	A 事業が計画に位置付けられた目標を達成した。 1日当たりの利用者数 目標: 243人 実績: 276人 分析: 扶桑団地を中心に高齢者の利用が特に多い路線である。80歳以上無料乗車が開始したことから、利用者数が増加したと考えられる。	利用者のさらなる増加に向けて、沿線の学校、商業施設、企業、自治会等に出向き、PRを行う。
友井タクシー株式会社	間々田線 系統: 小山駅西口～間々田駅西口 他1系統 距離: 往路10.8km 復路11.0km 運行回数: 平日10回/日、休日9回/日 運賃: 大人200円	また、広告代理店にご協力いただき、広告費用のみでおーバスの路線図・時刻表を作成し、新聞折込にて周知を行った。 自治会、いきいきふれあいセンター、学童等に出向き、乗り方教室を実施した。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	A 事業が計画に位置付けられた目標を達成した。 1日当たりの利用者数 目標: 178人 実績: 203.7人 分析: コロナ禍が明け、沿線に所在するふれあい健康センターが全面再開し、利用者増加に繋がったと考えられる。	利用者のさらなる増加に向けて、沿線の学校、商業施設、企業、自治会等に出向き、PRを行う。
大山タクシー株式会社	高岳線 系統: 小山駅東口～東光高岳北 距離: 往路5.2km 復路5.1km 運行回数: 全日28.5回/日 運賃: 大人200円	令和5年2月策定の小山市地域公共交通計画に基づき、間々田東西線、城南循環線、渡良瀬ライン、城南・新市民病院線について、利用動向にあわせた経路変更や増便等を実施した。 令和6年4月からは、高齢者の外出支援等を目的に、市内在住の80歳以上の市民を対象に運賃を無料にする実証実験を開始した。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	A 事業が計画に位置付けられた目標を達成した。 1日当たりの利用者数 目標: 391人 実績: 562.1人 分析: 沿線に所在する小山高専に利用促進のパンフレットを配布したところ、通学定期券発売枚数が増加(R5: 208枚、R6: 303枚)したことから、通学利用者が増えたものと考えられる。	利用者のさらなる増加に向けて、沿線の学校、商業施設、企業、自治会等に出向き、PRを行う。
大山タクシー株式会社	城東中久喜線 系統: 小山駅東口～高専正門 距離: 往路6.5km 復路6.7km 運行回数: 平日14回/日、休日13回/日 運賃: 大人200円		A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	A 事業が計画に位置付けられた目標を達成した。 1日当たりの利用者数 目標: 196人 実績: 238.1人 分析: 沿線に所在する小山高専に利用促進のパンフレットを配布したところ、通学定期券発売枚数が増加(R5: 126枚、R6: 138枚)したことから、通学利用者が増えたものと考えられる。	利用者のさらなる増加に向けて、沿線の学校、商業施設、企業、自治会等に出向き、PRを行う。

令和6年度 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(地域公共交通計画/生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和7年1月31日

協議会名: 小山市地域公共交通会議

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①運行事業者	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
大山タクシー有限会社	土塔平成通り線 系統:小山駅東口～横倉公民館 距離:往路6.9km 復路7.6km 運行回数:全日13回/日 運賃:大人200円	前年度、利用促進のパンフレットを配布したところ、利用者数が増加したことから、引き続き沿線の学校に配布を行った。また、広告代理店にご協力いただき、広告費用のみでおいバスの路線図・時刻表を作成し、新聞折込にて周知を行った。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	A 事業が計画に位置付けられた目標を達成した。 1日当たりの利用者数 目標:159人 実績:205.1人 分析:宅地開発が進み沿線人口が増加しているため、利用者増加に繋がったものと考えられる。	利用者のさらなる増加に向けて、沿線の学校、商業施設、企業、自治会等に出向き、PRを行う。
大山タクシー有限会社	大谷中央線 系統:小山駅東口～大谷公民館～小山駅東口 他2系統 距離:循環13.0km 運行回数:全日13回/日 運賃:大人200円	自治会、いきいきふれあいセンター、学童等に出向き、乗り方教室を実施した。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	A 事業が計画に位置付けられた目標を達成した。 1日当たりの利用者数 目標:216人 実績:299.9人 分析:宅地開発が進み沿線人口が増加しているため、利用者増加に繋がったものと考えられる。	利用者のさらなる増加に向けて、沿線の学校、商業施設、企業、自治会等に出向き、PRを行う。
株式会社小山中央観光バス	思川駅線 系統:小山駅西口～思川駅～小山駅西口 距離:循環14.3km 運行回数:全日8回/日 運賃:大人200円	令和5年2月策定の小山市地域公共交通計画に基づき、間々田東西線、城南循環線、渡良瀬ライン、城南・新市民病院線について、利用動向にあわせた経路変更や増便等を実施した。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	A 事業が計画に位置付けられた目標を達成した。 1日当たりの利用者数 目標:60人 実績:81.8人 分析:沿線に所在する高校に利用促進のパンフレットを配布したところ、通学定期券発売枚数が増加(R5:57枚、R6:63枚)したことから、通学利用者が増えたものと考えられる。	利用者のさらなる増加に向けて、沿線の学校、商業施設、企業、自治会等に出向き、PRを行う。
株式会社小山中央観光バス	道の駅線 系統:小山駅西口～思川駅～小山駅西口 他1系統 距離:循環15.9km 運行回数:全日5.5回/日 運賃:大人200円	令和6年4月からは、高齢者の外出支援等を目的に、市内在住の80歳以上の市民を対象に運賃を無料にする実証実験を開始した。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	A 事業が計画に位置付けられた目標を達成した。 1日当たりの利用者数 目標:40人 実績:56.6人 分析:コロナ禍が明け、いちごの里などの観光施設への利用があることから、利用者増加に繋がったものと考えられる。	利用者のさらなる増加に向けて、沿線の学校、商業施設、企業、自治会等に出向き、PRを行う。

令和6年度 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(地域公共交通計画/生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和7年1月31日

協議会名: 小山市地域公共交通会議

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①運行事業者	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性		⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
友井タクシー有限公司	新市民病院線 系統: 小山駅西口～新市民病院 距離: 往路7.5km 復路7.5km 運行回数: 平日14回/日、休日12回/日 運賃: 大人200円	前年度、利用促進のパンフレットを配布したところ、利用者数が増加したことから、引き続き沿線の学校に配布を行った。また、広告代理店にご協力いただき、広告費用のみでおバスの路線図・時刻表を作成し、新聞折込にて周知を行った。	A	事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	A 事業が計画に位置付けられた目標を達成した。 1日当たりの利用者数 目標: 136人 実績: 184人 分析: ひととのやウレツジを中心に沿線人口が増加しているため、利用者増加に繋がったと考えられる。	利用者のさらなる増加に向けて、沿線の学校、商業施設、企業、自治会等に出向き、PRを行う。
株式会社小山中央観光バス	間々田東西線 系統: 光南病院～間々田駅東口～新市民病院 他2系統 距離: 往路10.8km 復路10.9km 運行回数: 全日24回/日 運賃: 大人200円	自治会、いきいきふれあいセンター、学童等に出向き、乗り方教室を実施した。	A	事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	A 事業が計画に位置付けられた目標を達成した。 1日当たりの利用者数 目標: 63人 実績: 94人 分析: 利用動向に応じた運行経路の変更及び増便を行ったことで、利用者増加につながったと考えられる。	利用者のさらなる増加に向けて、沿線の学校、商業施設、企業、自治会等に出向き、PRを行う。
関東自動車株式会社	城南循環線 系統: 小山駅東口～城南公園入口～小山駅東口 距離: 循環10.8km 運行回数: 全日26回/日 運賃: 大人200円	令和5年2月策定の小山市地域公共交通計画に基づき、間々田東西線、城南循環線、渡良瀬ライン、城南・新市民病院線について、利用動向にあわせた経路変更や増便等を実施した。 令和6年4月からは、高齢者の外出支援等を目的に、市内在住の80歳以上の市民を対象に運賃を無料にする実証実験を開始した。	A	事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	A 事業が計画に位置付けられた目標を達成した。 1日当たりの利用者数 目標: 210人 実績: 314.4人 分析: 利用動向に応じた運行経路の変更及び増便を行ったことで、利用者増加につながったと考えられる。	利用者のさらなる増加に向けて、沿線の学校、商業施設、企業、自治会等に出向き、PRを行う。
大山タクシー有限公司	渡良瀬ライン 系統: 小山駅西口～ラムサール渡良瀬遊水地駅 他1系統 距離: 往路21.3km 復路21.1km 運行回数: 全日7回/日 運賃: 大人200円		A	事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	A 事業が計画に位置付けられた目標を達成した。 1日当たりの利用者数 目標: 22人 実績: 49.8人 分析: 利用動向に応じた運行経路の変更及び増便を行ったことで、間々田小学校の児童が登校で利用していただけるようになった。	利用者のさらなる増加に向けて、沿線の学校、商業施設、企業、自治会等に出向き、PRを行う。

令和6年度 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(地域公共交通計画/生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和7年1月31日

協議会名: 小山市地域公共交通会議

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①運行事業者	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
株式会社小山中央観光バス	ハーヴェストウォーク線 系統: 小山駅西口～小山温泉 思川 距離: 往路3.1km 復路3.1km 運行回数: 平日30回/日 土休日39回/日 運賃: 大人200円	前年度、利用促進のパンフレットを配布したところ、利用者数が増加したことから、引き続き沿線の学校に配布を行った。 また、広告代理店にご協力いただき、広告費用のみでおーパスの路線図・時刻表を作成し、新聞折込にて周知を行った。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	A 事業が計画に位置付けられた目標を達成した。 1日当たりの利用者数 目標: 673人 実績: 750.3人 分析: 沿線に所在する小山高校に利用促進のパンフレットを配布したところ、通学定期券発売枚数が増加(R5: 58枚、R6: 62枚)したことから、通学利用者が増えたものと考えられる。	利用者のさらなる増加に向けて、沿線の学校、商業施設、企業、自治会等に出向き、PRを行う。
関東自動車株式会社	城南・新市民病院線 系統: 小山駅東口～新市民病院 距離: 往路5.8km 復路5.7km 運行回数: 全日10回/日 運賃: 大人200円	自治会、いきいきふれあいセンター、学童等に出向き、乗り方教室を実施した。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	B 事業が計画に位置付けられた目標を達成できていない点があった。 目標: 97人 実績: 93.6人 分析: 路線名および一部運行経路を変更し、新市民病院への移動ニーズに対応したところであるが、沿線住民の周知不足により利用者が伸び悩んだものと考えられる。	利用者のさらなる増加に向けて、沿線の学校、商業施設、企業、自治会等に出向き、PRを行う。
大山タクシー有限公司	デマンドバス桑・絹エリア 営業区域: 桑・絹地区 運行日: 月曜～金曜 運行時間帯: 8時～17時 運賃: 大人300円	令和5年2月策定の小山市地域公共交通計画に基づき、間々田東西線、城南循環線、渡良瀬ライン、城南・新市民病院線について、利用動向にあわせた経路変更や増便等を実施した。 令和6年4月からは、高齢者の外出支援等を目的に、市内在住の80歳以上の市民を対象に運賃を無料にする実証実験を開始した。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	A 事業が計画に位置付けられた目標を達成した。 1日当たりの運行便数 目標: 3.5便 実績: 4.9便 年間稼働率 目標: 46.6% 実績: 61.0% 分析: コロナ禍が明けいきいきふれあい事業が再開されたことにより、ふれあいセンター利用の方が乗車したものと考えられる。	利用者のさらなる増加に向けて、沿線の学校、商業施設、企業、自治会等に出向き、PRを行う。
大山タクシー有限公司	デマンドバス大谷中南部・間々田東部エリア 営業区域: 大谷中南部・間々田東部地区 運行日: 月曜～金曜 運行時間帯: 8時～17時 運賃: 大人300円		A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	B 事業が計画に位置付けられた目標を達成できていない点があった。 1日当たりの運行便数 目標: 3.1便 実績: 3.3便 年間稼働率 目標: 43.5% 実績: 41.3% 分析: エリア内を運行する土壌平成通り線、大谷中央線の利用者増加に伴い、転移したものと考えられる。	利用者のさらなる増加に向けて、沿線の学校、自治会等に出向き、PRを行う。

令和6年度 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(地域公共交通計画/生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和7年1月31日

協議会名: 小山市地域公共交通会議

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①運行事業者	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
大山タクシー有限会社	デマンドバス豊田エリア 営業区域: 豊田地区 運行日: 月曜～金曜 運行時間帯: 8時～17時 運賃: 大人300円	前年度、利用促進のパンフレットを配布したところ、利用者数が増加したことから、引き続き沿線の学校に配布を行った。また、広告代理店にご協力いただき、広告費用のみでおバスの路線図・時刻表を作成し、新聞折込にて周知を行った。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	A 事業が計画に位置付けられた目標を達成した。 1日当たりの運行便数 目標: 1.5便 実績: 2.5便 年間稼働率 目標: 19.5% 実績: 28.2% 分析: コロナ禍が明けいきいきふれあい事業が再開されたことにより、ふれあいセンター利用の方が乗車したものと考えられる。	利用者のさらなる増加に向けて、沿線の学校、自治会等に向き、PRを行う。
大山タクシー有限会社	デマンドバス中・穂積エリア 営業区域: 中・穂積地区 運行日: 月曜～金曜 運行時間帯: 8時～17時 運賃: 大人300円	自治会、いきいきふれあいセンター、学童等に出向き、乗り方教室を実施した。 令和5年2月策定の小山市地域公共交通計画に基づき、間々田東西線、城南循環線、渡良瀬ライン、城南・新市民病院線について、利用動向にあわせた経路変更や増便等を実施した。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	C 事業が計画に位置付けられた目標を達成できていない点があった。 1日当たりの運行便数 目標: 0.2便 実績: 0.3便 年間稼働率 目標: 9.9% 実績: 3.2% 分析: いきいきふれあい事業が再開したが、同時帯の利用者が多く、稼働率の改善にはつながらなかった。	利用者のさらなる増加に向けて、沿線の学校、自治会等に向き、PRを行う。
大山タクシー有限会社	デマンドバス寒川・生井エリア 営業区域: 寒川・生井地区 運行日: 月曜～金曜 運行時間帯: 8時～17時 運賃: 大人300円	令和6年4月からは、高齢者の外出支援等を目的に、市内在住の80歳以上の市民を対象に運賃を無料にする実証実験を開始した。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	A 事業が計画に位置付けられた目標を達成した。 1日当たりの運行便数 目標: 1.4便 実績: 1.6便 年間稼働率 目標: 17.5% 実績: 17.9% 分析: コロナ禍が明けいきいきふれあい事業が再開されたことにより、ふれあいセンター利用の方が乗車したものと考えられる。	利用者のさらなる増加に向けて、沿線の学校、自治会等に向き、PRを行う。

地方運輸局等における
二次評価結果
(関東運輸局)

目標が未達成となった系統はあるものの、学校へのパンフレットの配布や新聞折込広告による積極的な周知活動や、高齢者の外出支援といった需要喚起策に取り組み、一部系統においては目標を大きく上回る実績を達成していることは評価できる。
第三者評価委員会における有識者からの助言(下記)も今後の検討の参考にしていただきたい。
・利用状況を把握し、利用者が集中する時間帯や目的地等があれば、井ちつぶを定時定路線にするなど、利用者に合ったサービス内容の変更を検討していただきたい。

令和6年度 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(地域公共交通計画/生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和7年1月24日

協議会名: 鹿沼市地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①運行事業者	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
鹿沼合同タクシー	栗野地域 平成24年4月から、栗野地区、粕尾地区、永野地区、清洲地区の各デマンドを一本化 運行回数 10,230回/年 運賃 100円～800円	新規利用者獲得のため、バスの乗り方教室の実施をおこなった。	A 計画どおりに事業は適切に実施された。	B R6目標 16.6人/日 実績 令和 3年度 8.9人/日・台 令和 4年度 10人/日・台 令和 5年度 9.3人/日・台 令和 6年度 8.3人/日・台	・事業は計画通りに実施し、収支率は改善しているものの、目標には達しなかった。 ・利用者数の増加策と効率的な運行の検討が必要。
鹿沼合同タクシー	北押原・南押原 北犬飼地域 運行開始:平成22年11月 運行回数 4,144回/年 運賃 100円～600円	利用者からの要望を踏まえ、利用エリアの一部調整(目的地の追加)を行った。	A 計画どおりに事業は適切に実施された。	A R6目標 8.98人/日 実績 令和 3年度 12.1人/日・台 令和 4年度 12.76人/日・台 令和 5年度 12.9人/日・台 令和 6年度 12.1人/日・台	・計画通りに実施し、目標に達した。 ・効率的な運行及び利便性向上のため、運行範囲や目的地の再検討が必要。
鹿沼合同タクシー	松原地区 運行開始:平成23年11月 運行回数 2516回/年 運賃100円～400円	路線バスとの乗り継ぎなどを、利用状況をみながら運行した。	A 計画どおりに事業は適切に実施された。	B R6目標 10.7人/日 実績 令和 3年度 6.2人/日・台 令和 4年度 7.5人/日・台 令和 5年度 8.2人/日・台 令和 6年度 7.5人/日・台	・事業は計画通りに実施し、収支率は改善しているものの、目標に達しなかった。 ・路線バスとの連携を強化し、効率的な運行の検討が必要。
ヘイタク(R5.10.1-R6.3.31) 栃木ロイヤル交通(R6.4.1-R6.9.30)	板荷・菊沢地区 運行開始:平成22年11月 運行回数 2,072回/年 運賃100円～600円	課題を抱えた利用者に向け、地域包括ケアと連携し、高齢者の移動手段の確保を実施した。	A 計画どおりに事業は適切に実施された。	B R6目標 16.6人/日 実績 令和 3年度 17.1人/日・台 令和 4年度 15.24人/日・台 令和 5年度 13.2人/日・台 令和 6年度 10.5人/日・台	・事業は計画通りに実施し、収支率は改善しているものの、目標に達しなかった。 ・運行範囲が広いため、利便性向上のために、地区ごとの運行時間の設定に係る検討が必要。

地方運輸局等における
二次評価結果
(関東運輸局)

1日あたり利用者数について目標が未達成となった系統もあるが、利用者の要望を踏まえた運行内容の見直しや、関係者と連携して高齢者の移動手段の確保に取り組んでいることは評価できる。
第三者評価委員会における有識者からの助言(下記)も今後の検討の参考としていただきたい。
・生活様式に合わせて利用を解説する案内チラシを配布するなど、住民にとって分かりやすい周知を行うことも検討していただきたい。

令和6年度 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(地域公共交通計画/生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和7年1月27日

協議会名: 野木町公共交通活性化会議

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①運行事業者	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
・小山合同タクシー(株) ・(有)野木タクシー	【デマンド交通「キラ輪号(愛称)」】 運行区域: 町内全域 運行日: 月曜～金曜(土・日・祝日、お盆: 8月13日～16日、年末年始: 12月29日～1月3日運休) 運行時間帯: 8時～17時 運行本数: 17本(午前8本、午後9本) 運行車両: セダン2台、ワゴン1台 運賃: 利用券(大人[中学生以上]300円、小人[小学生以下]200円、75歳以上200円、3歳未満無料)	●前回の事業評価結果(住民の自分事化、定量的な目標の共有)を踏まえ、以下を実施 ・地域公共交通計画策定、シミュレーションの実施、数値目標の活性化会議での協議 ・利用者等が感じたデマンドタクシーに対する不満点を改善するため、タクシー事業者及び業務委託先と打合せや意見交換を行い、要望のあった福祉事業を含めた広報資料の作成、運行状況・アンケート結果のHP公開を実施した。 ・パンフレットを刷新し、車両写真など情報を増やした。 ・敬老事業やはたちを祝う会におけるパンフレットの配布を行った。 ・町広報誌において、デマンド特集記事を組み、登録及び利用の促進を図った。 ・住民への公共交通の周知や自家用車からの転換を図るため、モビリティマネジメントの実施に向けた、学校や福祉部局との調整を行った。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	A ・目標数値である利用登録者数の3,215人に対して、本年度の利用登録者数は3,255人(令和6年9月末までの総数)と目標を達成出来た。 <利用登録者の推移> H21年度(※11月～実証(試行)運行当初): 1,223人、H22～25年度: 250人前後、H26年度: 174人、H27年度: 149人、H28年度: 157人、H29年度: 153人、H30年度: 144人、R1年度: 169人、R2年度: 151人、R3年度: 168人、R4年度: 171人、R5年度: 232人、R6年度: 207人(※各前年10月～9月末の合計) ・目標数値である1日平均利用者数36.3人/日に対して、約41.8人/日(令和5年10月～令和6年9月末)であり、目標を達成出来た。 <1日平均利用者の推移> H21年度(※11月～実証(試行)運行当初): 23.8人/日、H22年度: 29.3人/日、H23年度: 31.8人/日、H24年度: 34.5人/日、H25年度: 36.8人、H26年度: 35.0人/日、H27年度: 37.5人/日、H28年度: 38.9人/日、H29年度: 37.4人/日、H30年度: 35.6人/日、R1年度: 38.3人/日、R2年度: 34.6人/日、R3年度: 33.5人/日、R4年度: 36.6人/日、R5年度: 41.5人/日、R6年度: 41.8人/日(※各前年10月～9月末の合計平均) ・65歳以上の利用者が全体の87.5%(総利用者9,993人に対し8,739人)であった。高齢者等の交通弱者対策のための「安全かつ安心に移動できる「地域の足」の確保」として事業目的を果たしていることが伺える。	・今後も、アンケート調査により、利用者のニーズ等を把握する。その結果を受け、声の大きい要望かつ効果が大きいものについてはその実現に向けて調整を行う。また登録及び利用の促進を図るため、広報による特集ページの掲載やパンフレット等による周知等を行う。 ・定量的な目標については、さらなるPRや利用者要望に寄り添ったデマンド交通になるように努め、「地域公共交通計画」の中で定めた町内の公共交通の再構築及びよりよいデマンド交通の運行施策について、その効果を加味した目標値を設定し、PDCAを行うものとする。
地方運輸局等における二次評価結果(関東運輸局)	交通事業者等との意見交換を行っているほか、広報誌に特集記事を載せるといった積極的な周知活動も実施し、利用登録者や1日平均利用者において目標を達成していることは評価できる。今後の周知活動においては、第三者評価委員会における有識者からの助言(下記)を今後の検討の参考としていただきたい。 ・生活様式に合わせて利用を解説する案内チラシを配布するなど、住民にとって分かりやすい周知を行うことも検討していただきたい。				

令和6年度 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(地域公共交通計画/生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和7年1月30日

協議会名: 益子町地域公共交通会議

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①運行事業者	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
七井タクシー	デマンド型交通「ひまわり号」 営業区域:七井地区 運行日:月曜～土曜 運行時間帯:8時～17時 運賃:300円	・芳賀赤十字病院への乗り入れについてご意見をいただき、真岡鐵道を利用し芳賀赤十字病院に通院する町民を支援できるようにしたことにより、利用券購入と同時にデマンドタクシーの利用者登録をする町民が増えた。 ・前回の「⑥事業の今後の改善点」のなかの高齢者や障害者の利用への周知や一般向けの周知については、ホームページ等により利用者へ周知を行うことで利用者の増加を図った。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	B 目標: ・利用者50人/日 ・登録者3,900人 実績: ・利用者47.1人/日 ・登録者3,966人	・高齢者や障害者の利用について、福祉・高齢者支援関係課と連携し、引き続き利用者のフォローアップを図る。また、町広報紙やホームページを通じて利用者の増加を図る。 ・商工会、予約センターおよびタクシー会社と情報交換を行いながら、継続して安定した事業運営をしていく。
益子タクシー有限公司	デマンド型交通「ひまわり号」 営業区域:田野地区 運行日:月曜～土曜 運行時間帯:8時～17時 運賃:300円	・前回の「⑥事業の今後の改善点」のなかの安定した事業経営については予約センターのオペレーターと情報交換を密にし、トラブルの原因になっている利用者が乗車する際は担当が見回りに行くなどしてトラブルに発展しないよう努めた。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	B 分析: 運行系統ごとの計画は立てておらず、全体として、目標である利用者50人/日に対して、実績が47.1人/日であった。 平成24年10月の運行開始から、新型コロナウイルスの影響もあって一時利用者は減少したものの、天候や時期に左右される部分はあるが、地域住民の足として安定した運行ができています。一日の最大は84人、一方で最少は9人という日もあったが、登録者は9月末の時点で3,966人であったため目標は達成された。	
新光タクシー有限公司	デマンド型交通「ひまわり号」 営業区域:益子地区 運行日:月曜～土曜 運行時間帯:8時～17時 運賃:300円	・前回の「⑥事業の今後の改善点」のなかの、田野地区と七井地区間で乗り換えなしで乗り入れが可能かの検討については、各タクシー会社との協議が必要になるため、利用者の利便性向上のため今後も検討していきたい。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	B	

地方運輸局等における
二次評価結果
(関東運輸局)

利用者数の目標は未達成となったが、HP等を利用した周知の実施や、住民の意見を取り入れた通院者への支援の実施により、登録者数の目標値を達成していることは評価できる。安定した利用環境の維持や利便性向上を通じ、登録者の利用が定着することを期待したい。
また、広報誌やHPを通じた周知を行うことに関しては、第三者評価委員会における有識者からの助言(下記)も今後の検討の参考としていただきたい。
・生活様式に合わせて利用を解説する案内チラシを配布するなど、住民にとって分かりやすい周知を行うことも検討していただきたい。

令和6年度 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(地域公共交通計画/生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

協議会名: 宇都宮市地域公共交通会議

令和 7年 1月28日

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①運行事業者	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
泉タクシー(株)	区域運行:国本地区(全域) 運行日:月曜～土曜 運行時間帯:8時便～18時便 運賃:300円 (小学生:150円,未就学児:無料)	<ul style="list-style-type: none"> ・予約配車システムを活用し、効果的かつ効率的な運行に努めることで、利用者の待ち時間を短縮するなど、利便性の向上を図った。 ・更新時の利用登録申請書を送る際には、利用者の興味が湧くような色使いや理解しやすい表現を使った案内書を送付し、積極的なPR活動を実施した。 ・地域連携ICカード「totra」の車内販売を継続し、普及及び利用の定着を図った。 ・運行カレンダーや臨時運行のチラシ、広報誌などを作成し、地区市民センターにおいて掲示することで、利用促進を図った。 	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	【目標】 ・1回あたりの平均乗車人数2.0人に対し、2.4人であった。 【効果】 ・医療機関や商業施設など幅広く利用されている。また、路線バス停留所への接続利用も見られ、広域的な移動需要にも対応している。 ・買物、通院だけでなく、高齢者の生きがいづくりや健康づくりにも寄与している。	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、PR活動に積極的に取り組むとともに、今後、高齢者となる世代にも対応した利用促進策を検討していく。 ・既存の乗り継ぎポイントに加えて、地域内交通が路線バスとより快適に乗り継げるよう、新たな乗り継ぎポイントを目的施設に追加することで、更なる乗り継ぎ利便性の向上を図っていく。 ・「地域内交通の交通ICカードシステム」の更なる利用の拡大が図られるよう、利用者への周知を図っていく。 ・予約配車システムを活用することで、「待ち時間の見える化」や、「24時間受付」など、享受できるサービスがあることから、引き続き、地域運営組織と連携しながら、伴走型のWEBアプリ登録支援説明会を実施するなど、利用促進及び利便性の向上を図っていく。
泉タクシー(株)	区域運行:篠井地区(全域) 運行日:月曜～土曜 運行時間帯:8時便～18時便 運賃:300円 (小学生:150円,未就学児:無料)	<ul style="list-style-type: none"> ・予約配車システムを活用し、効果的かつ効率的な運行に努めることで、利用者の待ち時間を短縮するなど、利便性の向上を図った。 ・利用回数に応じて1回無料で乗車できるポイントカードや運転免許証返納者に対する回数券の配布を行うなど利用促進策を実施した。 ・地域連携ICカード「totra」の車内販売を継続し、普及及び利用の定着を図った。 	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	【目標】 ・1回あたりの平均乗車人数2.0人に対し、1.5人であった。 ・後期高齢化率20.64%に対し、自治会加入世帯に占める登録世帯数の割合は、22.61%であった。 【効果】 ・医療機関や商業施設など幅広く利用されている。また、路線バス停留所への接続利用も見られ、広域的な移動需要にも対応している。 ・買物、通院だけでなく、高齢者の生きがいづくりや健康づくりにも寄与している。	<ul style="list-style-type: none"> ・利用登録率・後期高齢化率がともに高い地区であり、固定の利用者による通院利用が中心となっているため、高齢者をターゲットとした利用促進などに取り組んでいく。 ・既存の乗り継ぎポイントに加えて、地域内交通が路線バスとより快適に乗り継げるよう、新たな乗り継ぎポイントを目的施設に追加することで、更なる乗り継ぎ利便性の向上を図っていく。 ・「地域内交通の交通ICカードシステム」の更なる利用の拡大が図られるよう、利用者への周知を図っていく。 ・予約配車システムを活用することで、「待ち時間の見える化」や、「24時間受付」など、享受できるサービスがあることから、引き続き、地域運営組織と連携しながら、伴走型のWEBアプリ登録支援説明会を実施するなど、利用促進及び利便性の向上を図っていく。
泉タクシー(株)	区域運行:富屋地区(全域) 運行日:月曜～土曜 運行時間帯:8時便～18時便 運賃:300円 (小学生:150円,未就学児:無料)	<ul style="list-style-type: none"> ・予約配車システムを活用し、効果的かつ効率的な運行に努めることで、利用者の待ち時間を短縮するなど、利便性の向上を図った。 ・地域行事日に合わせた利用促進チラシの作成や利用回数に応じて1回無料で乗車できるポイントカードの配布など利用促進策を実施した。 ・地域連携ICカード「totra」の車内販売を継続し、普及及び利用の定着を図った。 	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	【目標】 ・1回あたりの平均乗車人数2.0人に対し、1.9人であった。 ・後期高齢化率24.15%に対し、自治会加入世帯に占める登録世帯数の割合は、25.48%であった。 【効果】 ・医療機関や商業施設など幅広く利用されている。また、路線バス停留所への接続利用も見られ、広域的な移動需要にも対応している。 ・買物、通院だけでなく、高齢者の生きがいづくりや健康づくりにも寄与している。	<ul style="list-style-type: none"> ・利用登録率・後期高齢化率がともに高い地区であり、固定の利用者による通院利用が中心となっているため、高齢者をターゲットとした利用促進などに取り組んでいく。 ・既存の乗り継ぎポイントに加えて、地域内交通が路線バスとより快適に乗り継げるよう、新たな乗り継ぎポイントを目的施設に追加することで、更なる乗り継ぎ利便性の向上を図っていく。 ・「地域内交通の交通ICカードシステム」の更なる利用の拡大が図られるよう、利用者への周知を図っていく。 ・予約配車システムを活用することで、「待ち時間の見える化」や、「24時間受付」など、享受できるサービスがあることから、引き続き、地域運営組織と連携しながら、伴走型のWEBアプリ登録支援説明会を実施するなど、利用促進及び利便性の向上を図っていく。

令和6年度 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(地域公共交通計画/生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

協議会名: 宇都宮市地域公共交通会議

令和 7年 1月28日

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①運行事業者	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
泉タクシー(株)	区域運行:上河内地区(全域) 運行日:月曜～土曜 運行時間帯:8時便～17時便 運賃:300円 (小学生:150円,未就学児:無料)	<ul style="list-style-type: none"> ・予約配車システムの利用者拡大を目指し,スマホ教室などの伴走型の支援活動を実施した。 ・予約配車システムを活用し,効果的かつ効率的な運行に努めることで,利用者の待ち時間を短縮するなど,利便性の向上を図った。 ・PR活動の実施や,年4回発行の地域広報誌にて特集ページを設けるなどの利用促進を図った。 ・梵天の湯と氏家駅の行き来に限り地域外の方も利用可とする取組により,運行効率を維持しながら,利用者数の獲得を目指した。 	A 事業が計画に位置づけられたとおり,適切に実施された。	C 【目標】 ・1回あたりの平均乗車人数2.0人に対し,1.6人であった。 ・後期高齢化率15.07%に対し,自治会加入世帯に占める登録世帯数の割合は,12.89%であった。 【効果】 ・医療機関や商業施設など幅広く利用されている。また,路線バス停留所への接続利用も見られ,広域的な移動需要にも対応している。 ・買物,通院だけでなく,高齢者の生きがいづくりや健康づくりにも寄与している。	<ul style="list-style-type: none"> ・目的施設にバス停留所の追加をしていることから,公共交通の乗り継ぎについて,「乗継割引制度」や「上限運賃制度」と合わせた周知に取り組むことで,利用者数の獲得を図っていく。 ・既存の乗り継ぎポイントに加えて,地域内交通が路線バスとより快適に乗り継げるよう,新たな乗り継ぎポイントを目的施設に追加することで,更なる乗り継ぎ利便性の向上を図っていく。 ・予約配車システムを活用することで,「待ち時間の見える化」や,「24時間受付」など,享受できるサービスがあることから,引き続き,地域運営組織と連携しながら,伴走型のWEBアプリ登録支援説明会を実施するなど,利用促進及び利便性の向上を図っていく。
泉タクシー(株)	区域運行:平石地区(全域) 運行日:月曜～土曜 運行時間帯:8時便～18時便 運賃:300円 (小学生:150円,未就学児:無料)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域内交通の利用や乗継割引制度について地域広報紙を地区内に配布するなど,理解促進を図った。 ・地域連携ICカード「totra」の車内販売を継続し,普及及び利用の定着を図った。 ・予約配車システムを活用し,効果的かつ効率的な運行に努めることで,利用者の待ち時間を短縮するなど,利便性の向上を図った。 	A 事業が計画に位置づけられたとおり,適切に実施された。	A 【目標】 ・1回あたりの平均乗車人数2.0人に対し,2.0人であった。 【効果】 ・公共施設や医療機関など幅広く利用されている。また,鉄道駅やLRT停留場等への接続利用も見られ,広域的な移動需要にも対応している。 ・買物,通院だけでなく,高齢者の生きがいづくりや健康づくりにも寄与している。	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き,PR活動に積極的に取り組むことで,利用登録の拡大を目指すとともに,実際の利用につながるよう,利用促進策を検討していく。 ・既存公共交通との適切な役割分担のもと,地域ニーズの運行計画への反映や,LRTや路線バスとの接続強化などに取り組むことで,更なる利便性向上を図っていく。 ・「地域内交通の交通ICカードシステム」の更なる利用の拡大が図られるよう,利用者への周知を図っていく。 ・予約配車システムを活用することで,「待ち時間の見える化」や,「24時間受付」など,享受できるサービスがあることから,引き続き,地域運営組織と連携しながら,伴走型のWEBアプリ登録支援説明会を実施するなど,利用促進及び利便性の向上を図っていく。
泉タクシー(株)	区域運行:石井地区(一部) 運行日:月曜～土曜 運行時間帯:9時便～17時便 運賃:300円 (小学生:150円,未就学児:無料)	<ul style="list-style-type: none"> ・予約配車システムを活用し,効果的かつ効率的な運行に努めることで,利用者の待ち時間を短縮するなど,利便性の向上を図った。 ・地域内交通の利用や乗継割引制度について地域広報紙で地区内に周知するなど,理解促進を図った。 ・地域のイベントにおいて,地域内交通のブース出展やクイズ大会などを実施し,地域内交通の周知を図った。 ・地域連携ICカード「totra」の車内販売を継続し,普及及び利用の定着を図った。 	A 事業が計画に位置づけられたとおり,適切に実施された。	A 【目標】 ・1回あたりの平均乗車人数2.0人に対し,2.5人であった。 【効果】 ・公共施設や医療機関など幅広く利用されている。また,鉄道駅やLRT停留場等への接続利用も見られ,広域的な移動需要にも対応している。 ・買物,通院だけでなく,高齢者の生きがいづくりや健康づくりにも寄与している。	<ul style="list-style-type: none"> ・新規の利用登録が見られるとともに,利用者数も増加しているが,乗車率が未だ低いことから,新たな利用者の掘り起こしに努めるとともに,利用の定着につながるよう利用促進策を検討する。 ・既存公共交通との適切な役割分担のもと,地域ニーズの運行計画への反映や,LRTや路線バスとの接続強化などに取り組むことで,更なる利便性向上を図っていく。 ・「地域内交通の交通ICカードシステム」の更なる利用の拡大が図られるよう,利用者への周知を図っていく。 ・予約配車システムを活用することで,「待ち時間の見える化」や,「24時間受付」など,享受できるサービスがあることから,引き続き,地域運営組織と連携しながら,伴走型のWEBアプリ登録支援説明会を実施するなど,利用促進及び利便性の向上を図っていく。

令和6年度 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(地域公共交通計画/生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

協議会名: 宇都宮市地域公共交通会議

令和 7年 1月28日

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①運行事業者	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
アサヒタクシー(株)	区域運行:横川地区(全域) 運行日:月曜～土曜 運行時間帯:8時便～17時便 運賃:300円 (小学生:150円,未就学児:無料)	<ul style="list-style-type: none"> 令和6年9月に新たな目的施設として、「駅東公園前(LRT停留場)」を追加し、更なる利便性向上を図った。 予約配車システムを活用し、効果的かつ効率的な運行に努めることで、利用者の待ち時間を短縮するなど、利便性の向上を図った。 地域のイベントにおいて、地域内交通のブースを出展し、自治会未加入世帯も含めた利用者の拡大に向けたPR活動を実施したほか、ポイントカードの地域独自の利用促進策を実施するなど、利用促進を図った。 	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	<p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> 1回あたりの平均乗車人数2.0人に対し、2.6人であった。 <p>【効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 医療機関や商業施設など幅広く利用されている。また、路線バス停留所への接続利用もみられ、広域的な移動需要にも対応している。 買物、通院だけでなく、高齢者の生きがいづくりや健康づくりにも寄与している。 	<ul style="list-style-type: none"> 既存の乗り継ぎポイントに加えて、地域内交通が路線バスとより快適に乗り継げるよう、新たな乗り継ぎポイントを目的施設に追加することで、更なる乗り継ぎ利便性の向上を図っていく。 新たにライトライン停留場を目的施設に追加したため、「乗継割引制度」など更なる利用の拡大が図られるよう、利用者への周知を図っていく。 予約配車システムを活用することで、「待ち時間の見える化」や、「24時間受付」など、享受できるサービスがあることから、引き続き、地域運営組織と連携しながら、伴走型のWEBアプリ登録支援説明会を実施するなど、利用促進及び利便性の向上を図っていく。
アサヒタクシー(株)	区域運行:河内地区(全域) 運行日:月曜～土曜 運行時間帯:8時便～18時便 運賃:300円 (小学生:150円,未就学児:無料)	<ul style="list-style-type: none"> 利用登録の際は、高齢者等交通弱者に地区市民センターまでお越しただかなくても、単位自会長を窓口として登録できるルールを定着させるため、「利用登録申請マニュアル」や「地域内交通Q&Aチラシ」を作成し、自治会長会議や自治会回覧を活用した配布を行うなど、周知啓発を図った。 地域連携ICカード「totra」の車内販売を継続し、普及及び利用の定着を図った。 予約配車システムについて、民間事業者や地域のボランティア団体と連携しながら、スマホ教室に合わせて操作説明会を行うなど、利用促進を図った。 予約配車システムを活用し、効果的かつ効率的な運行に努めることで、利用者の待ち時間を短縮するなど、利便性の向上を図った。 	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	<p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> 1回あたりの平均乗車人数2.0人に対し、2.6人であった。 <p>【効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 医療機関や商業施設など幅広く利用されている。また、鉄道駅や路線バス停留所への接続利用もみられ、広域的な移動需要にも対応している。 買物、通院だけでなく、高齢者の生きがいづくりや健康づくりにも寄与している。 	<ul style="list-style-type: none"> 既存の乗り継ぎポイントに加えて、地域内交通が路線バスとより快適に乗り継げるよう、新たな乗り継ぎポイントを目的施設に追加することで、更なる乗り継ぎ利便性の向上を図っていく。 「地域内交通の交通ICカードシステム」の更なる利用の拡大が図られるよう、利用者への周知を図っていく。 予約配車システムを活用することで、「待ち時間の見える化」や、「24時間受付」など、享受できるサービスがあることから、引き続き、地域運営組織と連携しながら、伴走型のWEBアプリ登録支援説明会を実施するなど、利用促進及び利便性の向上を図っていく。
アサヒタクシー(株)	区域運行:豊郷地区(全域) 運行日:月曜～土曜 運行時間帯:8時便～17時便 運賃:300円 (小学生:150円,未就学児:無料)	<ul style="list-style-type: none"> 予約配車システムを活用し、効果的かつ効率的な運行に努めることで、利用者の待ち時間を短縮するなど、利便性の向上を図った。 地域内交通と地域住民をつなぐ役割を担う推進員に向けてガイドブックを作成し、利用促進を図った。 PR活動の実施や地域行事日に合わせて運行を行うなど利用促進を図った。 特に、運転免許証返納者に対する回数券の配布を行うなど利用促進策を実施した。 地域連携ICカード「totra」の車内販売を継続し、普及及び利用の定着を図った。 	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	<p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> 1回あたりの平均乗車人数2.0人に対し、2.5人であった。 <p>【効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 医療機関や商業施設など幅広く利用されている。また、路線バス停留所への接続利用も見られ、広域的な移動需要にも対応している。 買物、通院だけでなく、高齢者の生きがいづくりや健康づくりにも寄与している。 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、PR活動に積極的に取り組むとともに、今後、高齢者となる世代にも対応した利用促進策を検討していく。 既存の乗り継ぎポイントに加えて、地域内交通が路線バスとより快適に乗り継げるよう、新たな乗り継ぎポイントを目的施設に追加することで、更なる乗り継ぎ利便性の向上を図っていく。 「地域内交通の交通ICカードシステム」の更なる利用の拡大が図られるよう、利用者への周知を図っていく。 予約配車システムを活用することで、「待ち時間の見える化」や、「24時間受付」など、享受できるサービスがあることから、引き続き、地域運営組織と連携しながら、伴走型のWEBアプリ登録支援説明会を実施するなど、利用促進及び利便性の向上を図っていく。
アサヒタクシー(株)	区域運行:清原南部地区(全域) 運行日:月曜～土曜 運行時間帯:8時便～17時便 運賃:300円 (小学生:150円,未就学児:無料)	<ul style="list-style-type: none"> 予約配車システムを活用し、効果的かつ効率的な運行に努めることで、利用者の待ち時間を短縮するなど、利便性の向上を図った。 LRTの開業にあわせて、LRT停留場を目的施設に追加し、地域広報紙で地区内に周知するなど、理解促進を図った。 地域の行事に合わせた「臨時運行」を実施することで、利便性の向上に加え、新たな利用者の拡大を図った。 	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	<p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> 1回あたりの平均乗車人数2.0人に対し、2.3人であった。 <p>【効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 公共施設や医療機関など幅広く利用されている。また、鉄道駅やLRT停留場等への接続利用も見られ、広域的な移動需要にも対応している。 買物、通院だけでなく、高齢者の生きがいづくりや健康づくりにも寄与している。 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、PR活動に積極的に取り組むことで、利用登録の拡大を目指すとともに、実際の利用につながるよう、利用促進策を検討していく。 既存の乗り継ぎポイントに加えて、地域内交通が路線バスやLRTなどより快適に乗り継げるよう、新たな乗り継ぎポイントを目的施設に追加することで、更なる乗り継ぎ利便性の向上を図っていく。 予約配車システムを活用することで、「待ち時間の見える化」や、「24時間受付」など、享受できるサービスがあることから、引き続き、地域運営組織と連携しながら、伴走型のWEBアプリ登録支援説明会を実施するなど、利用促進及び利便性の向上を図っていく。

令和6年度 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(地域公共交通計画/生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

協議会名: 宇都宮市地域公共交通会議

令和 7年 1月28日

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①運行事業者	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
(有)雀タクシー	区域運行:雀宮地区(一部) 運行日:月曜～土曜 運行時間帯:8時便～17時便 運賃:300円 (小学生:150円,未就学児:無料)	<ul style="list-style-type: none"> ・予約配車システムを活用し,効果的かつ効率的な運行に努めることで,利用者の待ち時間を短縮するなど,利便性の向上を図った。 ・特に,未導入自治会の広報誌に地域内交通の紹介ページを盛り込むことで導入自治会の増加を図った。 ・運転免許証返納者に対する回数券の配布やPRチラシの発行・配布,高齢者外出支援事業の啓発を行うなど,利用促進策を実施した。 ・地域連携ICカード「totra」の車内販売を継続し,普及及び利用の定着を図った。 	A 事業が計画に位置づけられたとおり,適切に実施された。	【目標】 ・1回あたりの平均乗車人数2.0人に対し,2.3人であった。 【効果】 ・医療機関や商業施設など幅広く利用されている。また,鉄道駅や路線バス停留所への接続利用も見られ,広域的な移動需要にも対応している。 ・買物,通院だけでなく,高齢者の生きがいづくりや健康づくりにも寄与している。	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き,導入自治会の拡大を進めていくとともに,積極的なPR活動の実施など利用者の拡大に繋がる利用促進を図っていく。 ・既存の乗り継ぎポイントに加えて,地域内交通が路線バスとより快適に乗り継げるよう,新たな乗り継ぎポイントを目的施設に追加することで,更なる乗り継ぎ利便性の向上を図っていく。 ・「地域内交通の交通ICカードシステム」の更なる利用の拡大が図られるよう,利用者への周知を図っていく。 ・予約配車システムを活用することで,「待ち時間の見える化」や,「24時間受付」など,享受できるサービスがあることから,引き続き,地域運営組織と連携しながら,伴走型のWEBアプリ登録支援説明会を実施するなど,利用促進及び利便性の向上を図っていく。
矢野自動車(株)	区域運行:姿川地区(全域) 運行日:月曜～土曜 運行時間帯:8時便～17時便 運賃:300円 (小学生:150円,未就学児:無料)	<ul style="list-style-type: none"> ・予約配車システムを活用し,効果的かつ効率的な運行に努めることで,利用者の待ち時間を短縮するなど,利便性の向上を図った。 ・高齢者外出支援事業の周知や自治会回覧を活用し,予約配車システムの利用案内を実施するなど,利用促進策を実施した。 ・登録世帯に対する新規利用マニュアルの配布や,広報誌にカラー刷りのポスターを織り込むなど,利用者が見てわかりやすいPR活動を実施した。 ・地域連携ICカード「totra」の車内販売を継続し,普及及び利用の定着を図った。 	A 事業が計画に位置づけられたとおり,適切に実施された。	【目標】 ・1回あたりの平均乗車人数2.0人に対し,1.8人であった。 ・後期高齢化率13.19%に対し,自治会加入世帯に占める登録世帯数の割合は,6.68%であった。 【効果】 ・医療機関や商業施設など幅広く利用されている。また,鉄道駅や路線バス停留所への接続利用も見られ,広域的な移動需要にも対応している。 ・買物,通院だけでなく,高齢者の生きがいづくりや健康づくりにも寄与している。	<ul style="list-style-type: none"> ・既存の乗り継ぎポイントに加えて,地域内交通が路線バスとより快適に乗り継げるよう,新たな乗り継ぎポイントを目的施設に追加することで,更なる乗り継ぎ利便性の向上を図っていく。 ・「地域内交通の交通ICカードシステム」の更なる利用の拡大が図られるよう,利用者への周知を図っていく。 ・予約配車システムを活用することで,「待ち時間の見える化」や,「24時間受付」など,享受できるサービスがあることから,引き続き,地域運営組織と連携しながら,伴走型のWEBアプリ登録支援説明会を実施するなど,利用促進及び利便性の向上を図っていく。 ・目的施設にバス停留所の追加をしていることから,公共交通の乗り継ぎについて,「乗継割引制度」や「上限運賃制度」と合わせた周知に取り組むことで,利用者数の獲得を図っていく。 ・後期高齢化率が比較的低いため,若年層の利用登録推進に向けたPR活動を継続して行うことで,新たな利用登録世帯や実利用者の獲得を図っていく。

地方運輸局等における 二次評価結果 (関東運輸局)	予約配車システムの積極的な活用による利便性向上や,地域連携ICカードの販売による利用定着を図る等多岐にわたる取り組みを行い,12系統中8系統において1日当たり平均利用人数の目標を達成していることを評価する。 また,一部では既に実施いただいているところもあるが,PR等周知活動については画一的に行うのではなく,第三者評価委員会における有識者からの助言(下記)も今後の検討の参考としていただきたい。 ・生活様式に合わせて利用を解説する案内チラシを配布するなど,住民にとって分かりやすい周知を行うことも検討していただきたい。
---------------------------------	---

令和6年度 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(地域公共交通計画/生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和7年1月24日

協議会名: 那須烏山市地域公共交通会議

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①運行事業者	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
烏山合同タクシー(株)	デマンド交通南那須地区 運行区域は、南那須地区全域 及び烏山地区の指定施設(市 役所烏山庁舎、那須南病院、 山あげ会館、烏山台病院、水 道庁舎)	令和3年度に策定した那須烏 山市地域公共交通計画施策 「デマンド交通の運行適正化」 に基づき、令和4年4月に導入 したデマンド交通回数券販売 の継続や、令和6行政年度に おける「なすから健康マイレ ージ事業」において回数券を活用 した移動促進事業を実施する 等、利用向上策を展開した。	A 計画どおり事業は適切に実 施された。	B 計画通り事業を実施し、 利用者数の増加は見られ たが、目標の収支率への到 達等は未達成であった。 利用者満足度の改善は目 標値を達成したが、昨年度 に続き、商業施設へのアク セス強化が要望されてお り、満足度アップに向けて 更なる改善及び利用方法 の周知が必要である。	<ul style="list-style-type: none"> ●収支改善に向けた利用促進策や料金・サービス内容の調査・検討。 ●利用満足度向上に向けた輸送力強化・サービス内容の充実検討。 ●デマンド交通と福祉タクシー等の役割の明確化・交通弱者に対する公共交通全般の支援策の検討。 ●制度周知の強化・利用案内の充実 ●運転免許の自主返納者を増やすための周知啓発の実施。 ●広域幹線軸である鉄道と、支線系統であるデマンド交通との結節強化に向けた検討。
(株)烏山観光タクシー 烏山合同タクシー(株)	デマンド交通烏山地区 運行区域は、烏山地区全域及 び南那須地区の指定施設(市 役所南那須庁舎、保健福祉セ ンター、南那須図書館)	令和3年度に策定した那須烏 山市地域公共交通計画施策 「デマンド交通の運行適正化」 に基づき、令和4年4月に導入 したデマンド交通回数券販売 の継続や、令和6行政年度に おける「なすから健康マイレ ージ事業」において回数券を活用 した移動促進事業を実施する 等、利用向上策を展開した。	A 計画どおり事業は適切に実 施された。	C 計画通り事業を実施した が、利用人数が思うように 伸びず、目標の収支率への 到達等は未達成であった。 加えて、利用者満足度の 改善も達成できず、満足度 アップに向けて更なる改善 及び利用方法の周知が必要 である。	<ul style="list-style-type: none"> ●収支改善に向けた利用促進策や料金・サービス内容の調査・検討。 ●利用満足度向上に向けた輸送力強化・サービス内容の充実検討。 ●デマンド交通と福祉タクシー等の役割の明確化・交通弱者に対する公共交通全般の支援策の検討。 ●制度周知の強化・利用案内の充実 ●運転免許の自主返納者を増やすための周知啓発の実施。 ●広域幹線軸である鉄道と、支線系統であるデマンド交通との結節強化に向けた検討。

地方運輸局等における
二次評価結果
(関東運輸局)

目標は未達成となったものの、継続した回数券の販売のほか、回数券を活用した移動促進事業により利用促進に取り組んだことは評価できる。また、周知においては、第三者評価委員会における有識者からの助言(下記)も、今後の検討の参考としていただきたい。生活様式に合わせて利用方法を解説する案内チラシを配布するなど、住民にとって分かりやすい周知を行うことも検討していただきたい。

令和6年度 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(地域公共交通計画/生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和7年1月28日

協議会名: 市貝町地域公共交通会議

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①運行事業者	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
(株)柏タクシー	<p>デマンド型交通「サシバふれあい号」 営業区域:市貝町全域、芳賀町祖母井地区、芳賀町上延生ロマンの湯、茂木町茂木さとう耳鼻咽喉科クリニック、益子町芦沼青木医院、高根沢町上高根沢ふれあいセンター 運行日:月曜～金曜 祝日及びお盆、年末年始運休 運行時間帯:7時～18時 運賃:300円 こども200円</p>	<p>高齢化による運転免許証自主返納者に本デマンドタクシーの回数券を交付する等、新規利用者の確保、利用頻度の向上に努めた。</p>	<p>A 事業が計画に位置づけられたとおりに実施された。</p>	<p>C 利用者数について、38人/日の目標に対し、29人/日であった。 前年度の実績値である28人/日からは増加しており、徐々に新型コロナウイルス感染症による影響から回復している傾向が見られた。</p>	<p>生活交通収支率が目標値を下回る状況であるため、デマンドタクシーの周知や、高齢化による運転免許証自主返納者に本デマンドタクシーの回数券を交付する等、制度の周知や新規利用者の確保、利用頻度の向上に努める。</p>

地方運輸局等における
 二次評価結果
 (関東運輸局)

目標は未達成となったが、高齢化による運転免許証自主返納者に回数券を交付し、利用促進に取り組まれていることは評価できる。今後の取組として周知に力を入れることも検討されていることに関して、第三者評価委員会における有識者からの助言(下記)も今後の検討の参考としていただきたい。
 ・生活様式に合わせて利用を解説する案内チラシを配布するなど、住民にとって分かりやすい周知を行うことも検討していただきたい。

令和6年度 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(地域公共交通計画/生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和7年1月20日

協議会名: 壬生町地域公共交通会議

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①運行事業者	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)	
壬生タクシー(有)	事業名: 壬生町デマンドタクシー みぶまる運行事業 運行区域: 壬生町全域・ゆうがおパーク(下野市)	「利便性向上や利用促進の取組を行うことを期待する」という評価を受け、 ・1市2町(下野市・上三川町・壬生町)のデマンド相互利用を継続し、1枚の申込用紙で各市町のデマンド利用登録を可能とした。	A 事業は計画通り適切に実施された。	・目標①(登録者数): 達成 登録者数目標7,021人/年に対し、7,616人/年であった。 ・目標②(利用者数): 達成 利用者数目標7,326人/年に対し、7,587人/年であった。 ・目標③(運転免許返納者数): 未達成 返納者数目標104人/年に対し、74人/年であった。	・1市2町のデマンド相互利用登録は、今後も継続し、高齢者だけでなく幅広い世代に利用いただけるよう努める。 ただし、各市町で予約方法が異なるため、利用者により便利サービスと認識してもらえるよう各市町と調整し改善等を検討する。 ・デマンドタクシーの乗り方及び運転免許自主返納事業について、積極的なPRを行い、デマンドタクシー利用者及び自主返納事業申請者の増加に繋げる。	
壬生観光自動車(有)	運行日: 月～金(土・日・祝日、年末年始運休) 運行時間: 8～16時 1時間/便 運行本数: 1日9便 運行本数: セダン型タクシー2台 運賃: 中学生以上300円、小学生100円、未就学児無料	・運転免許の自主返納者へデマンドタクシーの利用券の支給を継続し、交通弱者の移動手段の確保を行った。 ・壬生町公式ウェブサイト内に、「公共交通全体」のページを作成しデマンドタクシーをはじめとした公共交通関係の案内を集約するとともに、ウェブサイトトップページにもそのページのアイコンを設置し、利用促進を図った。		B		・分析: 目標①登録者数及び②利用者数については、達成することができたが、③運転免許返納者数は達成することができなかった。原因として、利用券の配布について、積極的な周知を行ってこなかったことや、令和6年10月からコミュニティバスの利用券も配布するため、案内を開始した令和6年9月には申請者数が「0」であったことが考えられる。
みどり交通(有)						

地方運輸局等における
二次評価結果
(関東運輸局)

一部目標は未達成となったが、他の自治体とデマンド交通の相互利用に継続して取り組んだほか、利用者登録の簡素化による利便性の向上や、ウェブサイトによる公共交通の案内を集約するなど利用促進に取り組んだことは評価できる。
第三者評価委員会における有識者からの助言(下記)も今後の検討の参考としていただきたい。
・特定少数の利用者が繰り返し利用しているケースもあり得るため、延べ乗車人数以外のデータを確認することなども検討していただきたい。

令和6年度 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(地域公共交通計画/生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和6年12月19日

協議会名: 那須町地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①運行事業者	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
那須合同自動車株式会社	北部運行区域 (黒田原行き)	「引き続き、利便性向上や利用促進の取組を行うことを期待する。住民を巻き込み、自分事化するような仕組みを検討されたい。」という前回の事業評価結果を受け、公共交通の維持や利用を考える取り組みとして、那須町バスブックを全戸配布し、小学生を対象としたバスの乗り方教室(令和6年9月)とデマンド型乗合交通出前講座(令和5年10月)の実施を継続した。	計画どおり事業は適切に実施された。 長期的な利用促進に向け以下の取り組みを実施した。 A ①「那須町バスブック」を全戸配布 ②小学生低学年を対象とした「バスの乗り方教室」を企画(9月に1校にて開催) ③デマンド型乗合交通出前講座の実施(10月に1地区で開催)	<p>(1)年間利用者数8,800人の目標値に対して、本年度の年間利用者数は6,469人であり、目標を達成することができなかった。新型コロナウイルス感染症は、5類感染症に移行したものの、本年度はコロナ前の利用者数まで回復していない。また前年度(6,786人)と比較しても年間利用者数は減少している。</p> <p>なお、デマンド型乗合交通については、令和4年3月に策定した那須町地域公共交通計画により、一般タクシーサービスの活用も視野に入れた改善策についても検討し、令和5年10月から令和6年9月にかけて町内中心部の特定の地域にお住まいの方のご自宅と指定目的地間のタクシー料金が定額になる「那須町定額タクシーサービス」の実証運行を行った。登録者を対象に行ったアンケートで、回答者の9割が運行継続を希望したことから、実証運行期間を令和7年3月まで延長している。</p> <p>(2)収支率6%の目標値に対して、本年度は4.8%であり、目標を達成することができなかった。</p> <p>(3)利用者一人当たりの公的資金投入額4,300円/人の目標値に対して、本年度は5,210円/人であり、目標を達成することができなかった。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症が5類感染症に以降したものの、コロナ前の利用者数まで回復していない。今後も「移動制約者の日常生活の足の確保」を第一に考え、現在の運行サービスの維持する。長期的な視点の利用促進に向け「バスブックの配布」及び「きっかけづくりのイベント」は継続的に実施し、来年度の目標値である年間利用者数9,500人の達成を目指す。また、デマンド型乗合交通については、実利用者数の状況等の詳細な利用実態について把握する。</p>
	北部運行区域 (菅間記念病院行き)				
	北部運行区域 (広谷地行き)				
	南部運行区域 (黒田原行き)				
	南部運行区域 (菅間記念病院行き)				

地方運輸局等における二次評価結果(関東運輸局)	<p>目標は未達成であるが、昨年の評価を踏まえ、住民へのデマンド交通の理解を深めるような取り組みを行っていることは評価できる。また、バスブックの配布やきっかけづくりのイベントの実施といった周知活動にあたっては、第三者評価委員会における有識者からの助言(下記)も今後の検討の参考としていただきたい</p> <ul style="list-style-type: none"> 生活様式に合わせて利用を解説する案内チラシを配布するなど、住民にとって分かりやすい周知を行うことも検討していただきたい。
-------------------------	--

令和6年度 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(地域公共交通計画/生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和7年1月17日

協議会名: 塩谷町地域公共交通会議

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①運行事業者	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
大新東株式会社	塩谷町デマンド交通「えかんべ号」 営業区域: 塩谷町全域及び一部の町外施設 運行日: 月曜～金曜(祝日、お盆、年末年始は除く) 運行時間帯: 8時～17時 運賃: 町内500円、町外800円(小学生、75歳以上高齢者、障害者 町内300円、町外400円・未就学児 無料)	「住民を巻き込み、自分事化するような仕組みを検討していただきたい。」という助言を受け、町民向け公共交通懇談会を実施し町の公共交通の現状や、今後の公共交通について、意見交換を行った。 いただいた意見や要望を精査し、運行内容の改善に務めていきたい。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	B 計画に位置付けられた目標を達成できていない点があった。 指標①: 1日あたり平均利用人数 ・目標値: 25人/日 ・実績値: 26人/日 指標②利用促進に関する効果的な広報の実施 ・目標値: 2回 ・実績値: 2回 指標③啓発イベントの開催 ・目標値: 7回 ・実績値: 1回	利用人数は、ほぼ横ばい状況であり、意見箱への意見を参考に、今後の運行内容の改善を図っていきたい。 ②については、広報誌に限らず、インターネットやSNSなども活用し、若年層への情報配信を強化したい。 ③については、小中学生への出前講座や、高齢者が集う催し等に併せて活動を展開していきたい。

地方運輸局等における二次評価結果(関東運輸局)	<p>昨年の評価を踏まえ、住民のデマンド交通への理解を深める取り組みを行っていることは評価できる。意見交換会で得られた意見や要望を取り入れた運行の改善により、さらなる利用者利便の向上に繋がることを期待したい。</p> <p>また、情報発信の強化については、第三者評価委員会における有識者からの助言(下記)も今後の検討の参考としていただきたい。</p> <p>・生活様式に合わせて利用を解説する案内チラシを配布するなど、住民にとって分かりやすい周知を行うことも検討していただきたい。</p>
-------------------------	--

令和6年度 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(地域公共交通計画/生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和7年1月27日

協議会名: 矢板市地域公共交通会議

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①運行事業者	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
(有)矢板ツーリング	<p>矢板市デマンド交通</p> <p>営業区域: 矢板市内(コリーナ矢板・玉田地区を除く)</p> <p>運行日: 月曜～土曜</p> <p>運行時間帯: 8時～17時</p> <p>運賃: 【大人(中学生以上)】 片道500円/往復800円 【小学生・高齢者(65歳以上)・障がい者】 片道300円/往復500円 【ともなりパス所持者】 片道200円/往復300円 【未就学児】 無料</p>	<p>・デマンド交通の目的地一覧表を作成し、利用者に配布している。</p> <p>・市ホームページ・広報に情報を発信している。</p> <p>・時刻検索サイト「ナビタイム」「ジョルダン」へ情報提供し、利用者へ調べやすい環境を形成している。</p> <p>・65歳以上の市民が運転免許証を自主返納した際、割引料金で乗車できる「ともなりパス65」及び75歳以上の市民が割引料金で乗車できる「ともなりパス75」を発行している。</p>	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	B <p>事業が計画に位置付けられた目標を達成できていない点があった。</p> <p>目標: ・公共交通の利用者数(1日当たり)80人以上 ・広告等掲示申込件数10件/年以上</p> <p>実績: ・公共交通の利用者数(1日当たり)90.1人 ・広告等掲示申込件数4件/年</p> <p>分析: 利用者数については、利用者増加のための取組みを行った結果により、目標を達成できたと考えられる。広告等掲示申込件数については、目標値には届かなかった。</p>	<p>・公共交通の利用者数については、既に目標値を大幅に上回って達成できているが、引き続き、利用者増加のための取組みを実施していく。</p> <p>・広告等掲示申込件数については、景気動向等の外部要因による影響を大きく受けってしまう事項になるが、広報誌やホームページ等を活用して広く広告掲載を呼びかけていくことで需要喚起を図る。</p>

地方運輸局等における二次評価結果(関東運輸局)	<p>一部目標は未達成となったが、目的地一覧表配布や、市HPへの掲載、大手乗り換え案内サイトへの情報提供といった利用者利便の向上に取り組み、1日当たり利用者数においては目標を上回ったことを評価する。</p> <p>第三者評価委員会における有識者からの助言(下記)を今後の検討の参考としていただきたい。</p> <p>・デマンド交通で乗車人数が目標を達成されたことは素晴らしい。</p> <p>・特定少数の利用者が繰り返し利用しているケースもあるため、延べ乗車人数以外のデータの確認も検討していただきたい。</p>
-------------------------	--

令和6年度 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(地域公共交通計画/生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和7(2025)年1月23日

協議会名: 上三川町地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①運行事業者	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
関東交通株式会社	<p>上三川町デマンド交通</p> <p>名称:「かみたん号」 営業区域:町内全域 町外9施設 運行日:平日 運行時間帯: 8時から18時まで 運賃: 大人町内300円 大人町外450円 小学生 150円 未就学児 無料</p>	<p>住民を巻き込み、自分事化するような仕組みを検討して頂きたいとの評価については、現在のマイカー利用者など、今後かみたん号の利用者になり得る住民に対して、かみたん号の存在や特性の周知を行った。</p>	<p>A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。</p>	<p>B 目標:15,200人以上利用 実績:16,211人</p> <p>目標:収支率20.0%以上 実績:15.3%</p> <p>分析:利用者数は目標を達成することができたが、収支率は達成できなかった。</p>	<p>・今後もアンケートを実施し、住民のニーズの把握に努め、必要に応じ見直すことで、利用者への評価の改善に繋げる。 ・利用方法等の周知を強化することで、町民にデマンド交通の特徴を理解してもらい効率的に乗合を増やし、収支率の向上を目指す。 ・土曜日運行の実証実験について検討する。</p>

<p>地方運輸局等における 二次評価結果 (関東運輸局)</p>	<p>前回の評価を踏まえ、住民への理解を深めるような取り組みを実施し、利用者数において目標を達成されていることを評価する。 また、今後、利用方法の周知の強化に取り組まれることについては、第三者評価委員会における有識者からの助言(下記)も今後の検討の参考としていただきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デマンド交通で乗車人数が目標を達成されたことは素晴らしい。 ・利用者が増加した要因(外出の増加、自家用車利用からの転換、路線バスからの転換等)を分析し、把握することも検討していただきたい。 ・導入している交通によって市民(町民、村民)の活動がどのように変わってきたのか、必要に応じて副次的な効果を分析することも検討していただきたい。
--	--

令和6年度 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(地域公共交通計画/生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和6年12月25日

協議会名: 大田原市地域公共交通会議

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①運行事業者	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)		
山和タクシー有限公司	野崎・佐久山地域定路線	<p>【利用促進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市営バス路線・時刻表を12,000部作成し、配布している。 ・市ホームページ・広報に情報を発信している。 ・時刻検索サイト「ナビタイム」「ジヨルダン」へ情報提供し、利用者が調べやすい環境を形成している。 	<p>○事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。</p> <p>【事業内容】</p> <p>公共交通空白地域においては、湯津上・黒羽地域区域運行が地域の移動手段として浸透している。</p> <p>また、公共交通不便地域においては、親園・野崎・佐久山地域区域運行が地域の移動手段として浸透しており、地域の移動手段の選択肢が増えた。</p>	<p>【利用者一人当たりの運行経費】</p> <p>目標値: 3,240円/人 実績値: 2,945円/人</p> <p>A 達成状況: 利用者数は減少したものの、利用促進に向けた取組みにより、昨年度より利用者の減少を抑えられたことで、目標が達成できた。</p>	<p>【高齢者を対象に】</p> <p>本市では自家用車での移動が主な交通手段であるが、超高齢化社会を目前にして、高齢者の危険運転防止や、認知症予防を念頭に、市営バスを積極的に利用して、自らが「慣れる」、また「乗る」ことで利用率をアップさせ公共交通を存続させることの大切さを理解してもらえよう普及活動を行う。また、生活支援体制整備事業等の高齢福祉部局の事業に、公共交通担当が参加し、地域の移動ニーズの把握や市民生活に寄り添った移動サービスを検討します。</p> <p>【観光客を対象に】</p> <p>市営バスについて、広域バスマップ及び観光マップを活用し、地域外の居住者へ観光周遊を周知して利用促進につなげる。また、デマンド交通の乗り継ぎを併せた利用促進を引き続き図っていく。</p>		
	親園・野崎・佐久山地域区域運行	<ul style="list-style-type: none"> ・路線バスとデマンド交通を乗り継ぐ利用者の運賃を減免する「乗継割引」を継続し実施している。 ・デマンド交通の利用料金において、大田原市営バス及び関東自動車路線バスの定期券、並びに市営バス回数券の適用を継続して実施している。 ・高齢者が運転免許証を自主返納した際、無料で乗車できる「無料乗車証」を発行している。 ・デマンド交通を利用した買い物体験ツアーを社会福祉協議会と連携し開催したことで、新規の利用者を獲得した。 		A		<p>【利用者一人当たりの運行経費】</p> <p>親園・野崎・佐久山地域区域運行</p> <p>目標値: 3,605円/人 実績値: 3,503円/人</p> <p>A 達成状況: デマンド交通利用体験買い物ツアーを開催等により、利用者増が図れたことで、目標を達成できた。</p>	<p>【運行経費削減】</p> <p>デマンド交通において、地域の需要に対して、より利用状況に応じた運行を検討し、経費抑制を図る。またデマンド配車システムによる最適な組み合わせで運行経路の計算によるコスト削減を図っていく。</p>
	湯津上・黒羽地域区域運行	<p>【利便性向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・予約時間に最初の利用者の乗降場所へ到着できるよう運行事業計画の変更を行った。 ・デマンド配車システムを導入し、利用者は予約アプリから24時間予約が可能にした。 		C		<p>【利用者一人当たりの運行経費】</p> <p>目標値: 2,022円/人 実績値: 2,056円/人</p> <p>C 達成状況: デマンド交通利用体験買い物ツアーを開催し、利用者増が図るとともに、デマンド配車システムによるコスト削減が図られたものの、昨年度ほどの利用者増とはならなかったため、目標を達成できなかった。</p>	

地方運輸局等における
二次評価結果
(関東運輸局)

数多くの利用促進に向けた取り組みを実施するとともに、配車システムの導入により利用者利便の向上に取り組み、2つの地区において一人当たり運行経費が目標を達成していることを評価する。
第三者評価委員会における有識者からの助言(下記)も今後の検討の参考としていただきたい。
・利用者が増加した原因を分析し、把握することも検討していただきたい。

令和6年度 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(地域公共交通計画/生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和7年1月20日

協議会名: 那珂川町地域公共交通会議

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①運行事業者	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
有限会社馬頭観光タクシー	<p>運行系統名: 那珂川町デマンドタクシー (通称:なかちゃん号)</p> <p>運行区域: 那珂川町全域 (乗降場所47箇所 町内:46箇所 町外:1箇所)</p> <p>運行日: 月曜日～金曜日</p> <p>運行時間: 7:30～15:30 6便/日 (7:30、9:00、10:30、12:30、 14:00、15:30)</p> <p>運賃: 300円/回</p>		A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	C 【目標】 利用者数:11,000人/年 収支率 :15.3% 【実績】 利用者数:7,073人/年 収支率 :9.4% 【分析】 人口減少の影響により、利用者数が減少したことが原因と考えられる。 また、高齢化の自動車免許保有率が高く、自家用車等の移動手段が好まれていることも要因の1つと考えられる。	<ul style="list-style-type: none"> ・デマンドタクシーの利用方法や乗降場所、バス路線図等をまとめた公共交通マップを作成・配布し、利用促進を図る。 ・学校部活動の地域移行等に伴う、学生生徒への利用促進策を検討する。

地方運輸局等における 二次評価結果 (関東運輸局)	<p>目標は未達成となったが、事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された評価できる。</p> <p>また、公共交通マップの作成等、利用促進にあたっては、第三者評価委員会における有識者からの助言(下記)も今後の検討の参考としていただきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活様式に合わせて利用を解説する案内チラシを配布するなど、住民にとって分かりやすい周知を行うことも検討していただきたい。
---------------------------------	---